

湯浅兼道筆『源氏物語聞録』「若紫」翻刻

日向一雅
湯浅幸代

凡例

- 一、底本は明治大学中央図書館蔵の湯浅兼道筆『源氏物語聞録』（中央貴重書庫092.475/H）を用いた。
- 一、本文は原態に忠実であることを旨としたが、文字の表記について、次のような操作を加えた。
- 1 異体字は通行の字体に改めた。
 (例) 扨↓書 罒↓壺 寸↓時 畧↓略 虽↓雖 难↓難 槩↓概
 - 2 合字は分割して翻刻した
 右↓ヨリ メ↓シテ・シタ ㄋ↓コト
 - 3 漢字に付された濁点は(・)で表した。
 - 4 振り仮名などの傍記は、右側のものを()、左側のものを(/)で括った。
 - 5 本文に傍記されている日付は ≧ ≡ で括った。なお丁数が一緒に記されている場合も同様に表記した。
 - 6 送り仮名は標準の文字サイズに改めた。ただし、返り点付きの漢字においては、文字サイズを小さいままとした。
 - 7 割り注は「」で括り、文字サイズを標準の大きさに改めた。なお、割り注内の改行は / で表した。
- 一、反復記号は、ゞ 々 / など、原態に近い形で翻刻した。また、濁点の付されたヲドリ字は / (・) で表した。
- 一、豎点の表記は、右側のものを「僧*房」（四才頭注）、左側のものを「偏奉」（二才）のように表した。
- 一、見せ消ち・書き損じ等は、該当本文に二重抹消線を付し、傍書された訂正文字を()で括った。
- 一、抹消は●で表した。
- 一、字句の誤りと見られるものに「ママ」と傍記し、≧ ≡ 内に訂正文字を記した。
- 一、写本の汚れや損傷により判読不能の文字は□で表した。
- 一、写本上の表記は傍点であるが、句読点の意を持つ傍点については、「思ヒタマヘテナンヲカシク」（十三ウ）のように表記した。
- 一、挿入記号は◇で表し、挿入文を()で括った。但し、「見◇(エ)ル也」（二〇オ）は、写本に挿入記号はないが、挿入と解釈して表記した。
- 一、改行による空白を除く二文字以上の空白は「空白」で表した。
- 一、和歌の開始記号は「で表した。
- 一、頭注は(〜)で括り、各丁の本文の後に記した。なお、丁をまたぐものは、開始丁にまとめて掲載した。

※作業は以下のとおり担当した。

(翻刻) 湯浅 (修正) 日向

なお、二〇一六年度に、湯浅と関恭平(明治大学大学院博士後期課程・RA)で再修正を施した

翻刻

【一オ】

源氏物語聞録「若紫五ノ末摘花六」

【一ウ】

【二オ】

《三月六日會》

若紫

此卷ハ源ノ十七歳ノ三月カラ也抄ノ端ニ委シク書卷ニ名付ハ哥ヲ以名ツク面ハ紫トナリ藤壺ノユカリデ紫也ソフタイ此中ニ若紫トツゞクハナヒ也哥モ若紫也若紫ハ若草デ紫ニカゝル若ニ非偏奉則或^上或^下ト物怪ノ例デ云ニ下ニハ虚字ヲ以付也蓬生(ヨモギフ)ノ卷ニヨモギトコソアレヨモギフトツゞク事ナヒ也フトツゞクハナヒニヨモキフトソヘルハ或^上或^下(カミ)也若紫ハ或^上或^下(シモ)也是ハ下正(シモセウ)体ニナル故上(ウヘ)ニ虚字加ヘ実体ハ下(シモ)故或下(シモ)ト云也紅葉ノ賀ナドモミデモアリ賀モアレドモ紅葉賀トツゞク事ナヒ也紅葉ニ賀ツク事ナケレドモ紅葉賀ト云タグイナ事云アル也

○ワラハヤミーワラハヤミハ瘡也瘡ハマチナフテモツイヲチル者故ナド幼

子(ヲサナイコ)ノ様也ヲドシテモヤム様ナ者故也瘡ノカミハ共工(コウコウ)氏ノ末子餓

【二ウ】

死シテ瘡鬼ニナルト事文類聚(ジモンルイジユ)十節録(シツセツロク)ニモ出ソノ子ナル神故ニワラハヤミト云トイヘドモヲドシテ直ルカラ云ガヨイ也万ニマヂナフテモミタリ又加持ナドスレドモヲチヌ也シルシ一驗モナク加持ハ真言家ノ事也加ト云ハ佛(ホトケ)ノカラ也持ハ此方ノ行者ノカラ也加ト持トノカラ以法ヲ修シテ祈事トアル也积氏要覽ニアル也アル人一タレトモナク源へ申上ハ北山一即鞍馬(クラマ)ハ京カラ北へ當ル故也ナニカシ寺一クラマノ事ナルヲクラマト指ズナニガシ寺ト云也一説ハ近江ノ志賀寺ト云也大程京カラ東北ト當レハ北山ト云モ大事アルマイナレドモ指當クラマハ北也ナゼソフ云ナレバオクニツゞラヲリト哥アルシガノ山ニモツゞラヲリ詠(ヨミ)クラマニモヨムツゞラヲリトアルカラ是ヲシカトイヘトモ鞍馬ニモアル清少納言ノ枕草紙ニ遠(トホク)テ近キモノクラマノツゞラヲリトアル也シガハアシイ也抄ニモ両説引ドモアシイ也昔ハ四十九院アル大ナ処ナリ

《共工氏ハ此氏ノスチハ皆悪人出スト云事アル也瘡鬼ハ黄帝ノ子孫トモアル也十節録和本アリ三十卷モアル也》

《源氏男女官職私考曰ナニカシ寺爰ニハ鞍馬寺ヲイヘリクラマ寺ノ起ハ諸抄ニクハシ凡本邦寺号ノ初ハ欽明天皇ノ御宇蘇我ノ稻目ノ宿祢カ向原ノ家ヲ淨捨(キヨメハラヒ)テ寺トスルニ初レリ異邦寺ノ初ハ漢明帝ノ御白馬寺ニオコレリ云々》

【三才】

今ハソフナヒ也志賀デナヒト云ハ志賀寺ニソウシタ驗()者ノアル加持スル僧アル例ナヒ也源氏ハ無様ナ事アレドモヒカヘアフテ昔クラマニ驗者アル例デカク志賀ニ例ナヒ也鞍馬ニハ◇(昔)慈覚覺忍(カクニン)ト云驗者アルソレ例ニシテ書ナリ源氏ノワラハヤミハ定明(サダアキラ)ノ源氏一世ノ親王也延昌法師加持シテ驗()ヲ得コトアリト李部王(リハウオウ)ノ記ニアル此抄ニ円融院瘡ヤミ慈惠大師加持スルト引ドモ源ノ後ノ事也以前デナケレバ準據(ジユンキヨ)ニ~~ササキ~~(引レヌ也)延喜八年十月ノ定明ノ例ヨイ也去年ノ夏モ世ニ瘡ヲコリテ人々()マデナフ人ガマデナヒモテアツカウタ也コノワヅラヒハマデナヒカネタノ煩(ワツラヒ)也病氣ノ煩ニミル説アルアシイ也ヤガテ―其マ、加持デ止事故大様ノ人ハマデナヒカネタレドモ北山ノ僧ハマデナヒヤメタ也シ、コラカシ―瘡モヲチカネルトムツカシイ也上(ウヘ)ノシハシソコナフ也ワルウシコラス也物ノ多ナルヲシコルト云字デマセバ也御難義ナ事ニナル也早速北山ノヒヂリヲ呼テマデナハシテミラレヨ也召―

(○李部王記ナヒモノ也少々残アレドモソレサヘナヒナリ元ナニ程アルヤシラズ)

【三ウ】

年ヨリ手足モカミミロハ行フ処也トハソト也是モ戸口ト云説アレドモヤハリ外(ソト)ヨイ也申―ハ申テアレバ也イカ、ハ―是モ円融院ノ瘡ノ時ニ慈惠大師ヲ召ニ老病無~~レ~~術ノ由ヲ奏是ハ天子ナレバ再三ニ及早速キタ也是モ其例ニマカセテ再三云テヤツテモ天子デナヒ故ニユカヌ是天子ト親王トノ隔也其隔ナヒ事ナレバセン方ナヒ也忍―小勢ニシテ惟光良清(ヨシキヨ)ノ類

バカリヲトモ也暁ニ京ヲ立ナサレタ也三月―三月晦ナレバ京ノサカリハスギタ也山ノ―花ハ陽氣デ咲者故里ハ早ク山ノ陰分ハ遅也山ハサカリ也抄ニ引アル里ハミナ―新古今ニ入ル赤人也此タグイ也二首引アル也モテハ助字也以テ也イリ以テ尋ルキミアル也霞ノ―タ、ズマイト文ノベタレトモ霞ノ立ヤウモ也山フカヒ故也処―処セバイ也貴人故ヒロイ京デモチヨツトゴザレバ源氏ノ宮コソ今日ハドチヘゴザリ昨日ハドコヘトセマヒ処ニアル也寺ノサマモ―驗者ノコモル寺也モノサビシイ也ミネ―峯ノ

【四才】

高処ト云コト也クラ馬山ノミネ也ナカニ引込テアル也ノボリ―峯ノ高ク岩(イハネ)ノ方ヘノボル也源トシラセヌ也ブ人(ニン)ニシテ源ヲシラウ様ナイ也シルキ―ナンボヤツシテモ源ト云ヤウスイチジリイ也アナ―ヒヂリ云ハアナヲソレ多也一日召シテ源ノ宮ナラント也今ハ―現世ノ事ハステ未来ノ勤ヲバカリスル故ゲンガタノ―ゲンハカ持シタリケン世ノ事ニカ、ル也シユゲン者ドウシテヲ聞ナサル只今ハ忘ニ如何デ也ウチ―源ノウツクシイテイ故ヒヂリモウチエミ見ル也大トコハ徳アル出家也大トクハ出家ノ惣名ノ様ニイヘドモ学徳ノタル人云也要覽ニ委クアル也サルベキ―其アルベキ御祈祷ニアルベキ者也作リテハ御()フウ也スカセハ古語也古ハノミクヒスルヲスカスト云スレバノマセタ也御フウアゲソウシテカチ―カ持ヲ奉ル也貴人モノアゲルヲマイルノト云也キトウアゲル也マダ暁ニ京ヨリ三里故六時分ニ行也御フウ加持ノ間ニ日高―程ニモナル也加持一通スミテ岩ヲ立

(○スカスノ訓如何曰シラズ)

(○私考曰僧房房字和訓ツホネトヨメリ僧ノ居住スル所ヲ僧房トイヒ尼ノ居ル処ヲ尼房トイヘリ寺トハ別ナリ僧尼令ニ寺僧*房ト見エタリ説文房ハ室在

レ旁也)

【四ウ】

出也ミネ高キ岩故高キ処ニテ也コ、カシコ―四十九院ノ僧房也高処カラ見ヲロサル也タゞ此―其見ヲロサルマツタ、シモ也ヒヂリノ寺ノマツスグシタ也ツバヲオリハクラマノ山ノ七マガリトテマガリテアガル也七マガリアルト云事也今アガリ見ルニ七マガリカ知レ又先七マカリト云也ソノマガルヲナゼツ、ヲオリト云ナレバツバヲハカヅラ也ツバヲカラニシテアガルノキミデツバヲオリト云也ツ、ヲオリハ史記ニ九折ト書九折坂(、)ト云事アル史記ニモ前漢書ニモアル是ハ孝子王陽ガオソル、処我ハヲソレヌトアル也九ツ折ルト書七マガリデモ九ト曲デモツ、ヲオリソウ也オナジ―四十九院皆小柴垣見エル同小柴垣ナレドモ別シテ目ニ立テ見エル也ウルハシウ―長フシワタス也清(キヨ)ゲニアルサハヤカナ家ヤ廊下ヤ也木立―ユヘアル残様也別シテ目ニ立タレスムゾト問也御―ヲ供ノ人ハチヨツ／＼ト参詣シテシルト見エルナニ―名ヲ指ズ

(○タバハ直(タ、チ)ノ心歎曰マ一文字ノ心也マツタゞ也唯且ノタゞ歎曰然リ此下ノ意ナレバ也唯ト直ト訓同ヤ曰直チハ唯ヨリ出ル歎何分一ツナラシ)

(○王尊傳傷史記ニハ外ノ傳ニ付テアル也外ノ物ニハ九旋ト書ツ、ヲオリト訓シテアルナリ九ニ限ヤ曰九ハ数ノ諺故云ナラン必九ニハ限ザルベキ也)

【五オ】

タレカレ也先ノナニガシ寺ト同事也名ハ此書ノ事故シレヌ也コノ―三年ノ禁足デ二年目也去年カラコモリアル也心―コレハ源ノ被仰ハソレハ聞及ダ故ヲ

心恥シイ人也此僧都ハ此紫ノ上(ウヘ)ノ祖母(ハバ)ゴノ兄(アニ)也レキ／＼故心恥シキ也アヤシウ―メンヨウ不思儀ニヤツシテ来タ也コンナ者也ソウシタ人ニ逢バドウシテ此タビブニンニシテ来(キタ)ゾト思者也我來タト僧都モ聞カント也高処ヨリミヲロス故メノワラハ出アカ―ハ佛ヘ水ヲ奉リ花タ折ルテイ明ニ見ユ是ハヲ供ノ人アソコニ女アルト数事也僧都ハアシタ女居ヘン様ナヒ也ドウ人々コモリアルト口(クチ)／＼ニ云也僧都ハ―ヨモ僧都ハ墮落(ダラク)ニハアルマイト大様聞エレドモソフ聞テハ源氏ヒレツニナル也僧都ノ方ニハ女アルマイトザツト聞也又一説ニハ古ハ妻帯アルクラ馬ニモ清僧モアリ妻帯モアル僧都モ妻帯ヤシレヌソフナレバ大勢女アルマイニト云也

(○私考曰僧都ハ推古天皇ノ御宇ニ初ル一僧アリテ名ヲ執テ祝父ヲ歐シヨリ僧正僧都ヲ任シテ僧尼ヲ檢校セシム是本邦僧正僧都ノ初也日本紀推古天皇三十二年云々以觀勒僧為僧正以鞍部德積為僧都)

(○俊寛僧都杯妻子アル也古ハ此類多也今ノ祇園ノ僧モ僧都ナラン妻帯ナリ)

【五ウ】

ソレヨリサラリト僧都ノテマヘニハ女アルマイト見テヨイ也女ノ中ニモ若(ワカキ)アリワラハベモアルト申上也君ハ―ヲコリハ落タカドウゾト思召也ハタカラ云ハトニカクマガラハシテヨイト云今モ此通也ウシロノ山―カノ御符ノ加持ノトソレシテ後ロノ高キ処也鞍馬デ南東へ出バ京ミエル也ハルカニ―遙ニ京ノ方ミレバ霞一ハイニ充也四方ノ―ソコトモナクハカトモナク霞ワタル也煙―ヨモノ梢トアル故木ノ目ノモユル也アヘテソノ梢モエ出ルテイ繪ニ似タ也一説ハ煙ハ霞モ煙霞トテケムリノ類也ト是ヨサソウ也繪―ハ霞ハ繪ノクマドリニ似タル也初ノ説ノ四モノ梢―ハモへ出ルケムリデハ繪ニ似

タト云レヌ也霞ハエノクマドリニ似タ也源ノ詞也カ、ルカウシタ処ニスム
人ハエノ事思ヒノコス事アルマイ覺ランクマナク繪ノ趣向アラント也コレハ
—惟光良清ノ類(タグイ)云ハ是ハ山アサイ也人ハ他国也山海ノヨウス見
バイカニ—也初メニ繪ニ—ト被仰故人ノ国ノ他国ニアル

〔六オ〕
海ヤ山ミセマセバイカニヲ繪カガラント也源繪ヲ好テエ上手ナル事先ノ繪合
ノ卷ニアル也フジノ山—ソレカラヲコリ引ツ、キ諸国ノ山ノ咄ニナリフジノ
山ナニガシノ—ハナニカシ寺ナニカシノ僧都ト云ルイデ処サ、ヌト云一説也
又富士ノ山ト云ニナラベ云ハ富士アサマトツケ関東デ云浅間ヲノベ上(ウ
ヘ)ハ富士下(シタ)ハ浅間ト云ドチラデモ也又—ソレカラ西国ノ咄ニナリ
万—ヲコリ忘レル様ニハタカラモマギラシテ咄申上也近処ニハ—良清ハ當
*時ノハリマノ守ノ子故ニヨク知ル也是赤石須磨ヲ書張本也赤石ノ卷カ、ン
為コレ書也ナニノ至リ—各別ニ風流ナナンジヤドコガ各別ニ面白ト云処ナイ
也ハツトシタ処ナレドモ唯—唯海ノ面ヲミルバカリ也メンヨウナ事デヨソニ
ハ似ズ面白也ユホヒ(ヲヒ)カ—ヒロウ見エルガ面白也カノ国ノ—今ハ今物
語スル良清カ親播磨ノ守ナリ是ハ前(マヘノ)播マノ守(カミ)也良清ノヲ
ヤノハリマノ守ニナル前ノ前也サキノ

〔七オ〕
申シタマハル播磨ノ国ナレトモカノ—ハ国ノカミ四年ノ任ス(ミ)居付テ
ヤハリ居也後々ノ播磨ノ守来テハ先ノハ威勢落テアナツラル、也何ノ—ナン
ノ面目アツテ立反リアレハ受領デアツテト云ハン爰(コ、)デアナツラル事
京ニモ聞エレバナンノ面目ナヒ也ソレカラシホチニナル也スコシ—頭(カシ
ラ)ヲロシテ入道スルガアマレ海ノハタニ居ストモオクフカフシテ宜スベキ
ニオクフカイ宜キ処ニ居ズウミノハタニ家作りヲル様ナヒガ者也ゲニ—ゲニ
入道ガ海ノ辺ニ居ルモ尤ナルハカノ国デ外方ニ引込デ心靜ニ居ル処ナレドモ

ト云カラ良清ノ親迄三人モアル様ニ見エル也シボチハ播磨ノ守アガリシボチ
ハ入道シテアル也シボチハ其時分ニ御堂北院(ミドウホコキンノ)関白入
道シテ入道殿—ト云故憚(ハバカリ)テ入道ト云ヌ也多田ノ満仲モシンボ
チト云入道憚(ハバカ)ル故シンボチ也シンボチモ釈氏要覽ニアル新タニ意
ヲコス也親ハ入道シタ也イト—アマリ能(ヨフ)シテ意ヲ入レアル故立反(タ
チカヘリ)コチ◇(ガ)イタム也宜(ヨロシフ)ソアルト云事也大臣—祖父
(、)ハ大臣也此シンボチノ祖父也出—出世立身モスベイ人也是赤石ノ上(ウ
ヘ)書ン為ノ張本也世ノ—ヒガンダカタクハ者ニテ公家マジライモセヌ也近
衛—大将中將少將也◇(コノエトテ)セチエノ時シシイ殿ヲシユゴスコンエ
ノ大将ト云也左エ門右エ門(エモン)ハコノエト云左兵衛右兵衛(ヘウエ)
ハトノエト云也コレハコノエ也中將辞退シテ播磨ノ守ニナサレ下サレト云也
中將ハ大臣ノ末羽林家デナケレバナラヌケツコウナ者也ソレヲイヤガリ下ル
也カノ—中將ニカヘテ

〔七オ〕
申シタマハル播磨ノ国ナレトモカノ—ハ国ノカミ四年ノ任ス(ミ)居付テ
ヤハリ居也後々ノ播磨ノ守来テハ先ノハ威勢落テアナツラル、也何ノ—ナン
ノ面目アツテ立反リアレハ受領デアツテト云ハン爰(コ、)デアナツラル事
京ニモ聞エレバナンノ面目ナヒ也ソレカラシホチニナル也スコシ—頭(カシ
ラ)ヲロシテ入道スルガアマレ海ノハタニ居ストモオクフカフシテ宜スベキ
ニオクフカイ宜キ処ニ居ズウミノハタニ家作りヲル様ナヒガ者也ゲニ—ゲニ
入道ガ海ノ辺ニ居ルモ尤ナルハカノ国デ外方ニ引込デ心靜ニ居ル処ナレドモ

深里ハ―山里ハ人バナレ人スクナシ若キ女ボ兒(コ)トモ人ズクナヒ処ハ思
ワビヤガル故カツハ―カツウハソレカラデモアリノシモ海キワニ居リソレ
見ルヲ樂ニスル也妻子ノワビルモ一ツ我慰(ナグサム)モ一ツ也カツ又ハノ
キミ也サイツ―元ヨリ国ノ守故ヲヤアチニアレバ見マイニサイノ行也カノ
入道ノスマイミニ行也京―京デコソ弼大臣ノ末ガ中将ニナルハ志エヌ様也ソ
コヲ―

(○一タン中将コテアリシヤ曰然リ中将ハ受領ヨリヨシヤ曰然リ中将カラ幸
相ヘユク也)

(○カツハ心ヲ―又ハ我心ヲナグサミノ為ニ出尋也)

(○京ニテコソ数説アリ如何曰初ノ説ヨイ也オクハアシイ也ハラ立テコ、ハ
クルナリ)

【七ウ】

◇(ソコラ)アタリモ也辺ヲ也屋敷大(オ、キフ)シタ也シメテハ領シテ也
サハイヘド―人ニ少シアナヅラルト云ヲ承ソフアナヅラレテモ元ヨリ国ノ守
故福有アル也入道ガモハヤ播磨ノ守アゲ入道スル年ヨリテソノ年ヨル残ノ齡
ハツベイ用意シテアル二ナクハ二ツトモナフ宜フ拵テ用意シテアル也現世ハ
ソレ後―後ノヨノ事モ―也入道モ元ヨリ妻子アル故真実出家ニハ非樂剃(ラ
クゾク)也中々出離達(ダテ)ノ法師ヨリマサリヨク勤メルト良清云也サテ
―前ニシホチノムスメカシヅキタル家トアル故ニ扱其ムスメハト問也ケシウ
ハ―下(ゲ)スシウナリ器量相応也形モヨク心バセモアル也代―入道播磨ノ
守アゲ入道シテアル時ニソ後ノハリマノ守也コ、デ見レバ良清ヲヤニナル迄
其後々アル播磨ノ任四年スミ十五年モスムト見ユ女メクレムコニナラント
云入道ウケ引ヌ也我播磨ノ守ニナリ今牢々ニナリアレドモ此人―此ムスメ―

人カウアルニメツタナ処ヘヤラヌ也是ハサキニ入道靈夢ミル事アル若

(○六丁ヲ形意ナント侍ルト云ハ宜ヲ略ヤ曰然リ桐壺ノ卷ニ形人(ノ)トア
ルヨキモ形アシキモ形ナレトモ形ヨキコトヲ形人(ノ)トアルナリ)

【八オ】

菜ノ卷ニ入道物惜スル也手ニ日月握トユメニミル故后ニアゲタク思テ子ウメ
ハ其心アル也必竟夢アヒ源ノヲ心ニ叶ヒ源ヘ進上シテ姫君ヲウミヲ后ニ立故
(ユヘ)入道所存ノ通ニナル也日月手ニ握タ様(ナ)者也思ふ―存ジヨリ
アフ也若―入道云ハ我(ワガ)死シテ我思様ニ女ゴニモエナラズバコノ思ヒ
置タ処ノ事宿セアシクテアハズハ若―若ワガ思様ニ京ヘ上リ女ゴニモナラズ
ハ水ニ入テ死ネ也ネハ下知也良清語ル也君モ―源播磨ニ居テ后ニモト云ヲ笑
也人々―ヲ供ノ人々ガ云ハ海―ハ海ノ竜(リウ)王ノ后ニナランイツキ―ハ
入道ガイツキカシヅク大事ノ娘也竜宮ノ后ニナルベキ也入道高フトマリ様ゾ
ト也カクモノ語スル者ハ當時ノ播磨ノ守ノ子也藏人ハ三アル四位二人五位一
人六位四人也カウ云ハ六位也六位ノ藏人ナルガコ年五位ニナルカウムリハ
五位ニナル也カウムリハ爵(シヤク)ト云字ヲヨム爵ハ一位ヨリ九位迄

【八ウ】

皆云ドモ五位ハ地方デ取故ニ五位ヲ爵ト云也叙爵トモ云也コトシ五位ニナル
此良清モ大好色也カノ―ヲ后ニモト思ヲソレヲヤブル者ハ此良清ナラント云
也サテハソレカラヲコツテ入道ノユイ言ヤブル心アル故ニソレカラヲコツテ
入道ノ家ニ行ナラント也イデハ発語也其方ソフ云テモ入道ナンボイツキカシ
ヅイテモ田舎(イナカ)ビテアラント也田舎メイテトヒサイ時カラ海ノ
辺ニソダチヒガノシイ親ニ従タル女田舎ビタルナラント云ネバラン治マ

《ラ》又也テン倒也母一人云ハ田舎ヒタランガ母ハユヘアラン母ハレキ
ノ孫コナレバ也ヨキ其母ノモトヘハ京カラヨキ女カヘ下ス也都ノ宜キ筋
ナ処也ヨク一家ノエンヲ以テ尋ネトリヨビ下ス也マバユクハ威勢アリ腋ヨリ
向ハレン様ニ立波ニスル也ナサケ其様ニ入道ガカシヅイテモ田舎ビタラ
ン母ハヨシアランガ

【九オ】

ナサケハナンボ代々ハリマノ守云入テ聞ズトモ後ノハリマノ守ナサケナク
国主ノ威勢ヲ以テ云バサテ心ヤスクテモエ置テアラシヤハ助字也抄ニ素舜
ハニノ字ヤメテ了*見ヲ加ヘタルトアルナサケナキ人ニノ字ノケアル也
心ハ書テナン是ハ今ハ入道先ノハリマノ守ノ福有アル故ナレドモナサケナキ
人トハ當時ハハンゼウ也ビンボナ時節来(キ)タラバト云コト也ハ用又也
君ハ源ノ被仰ハドウシタ心アツテ入道ノソレ程心フカウ海ヘ入レト迄云ゾ
也入道ハヒカヘアツテ云也靈夢カラ云也源ハシラヌ也ソコノ海ヘハ入ハム
ツカシカラント也タバハヤヲ心ニカケル良清物語デ見タク思也カヤウニテ
モ是モヲ供ノ人々ノ心也此様ナ物語シテモヲシナベタ事デナフ此様ナヒガ
ンタ事好ミタマフクセ也モテハ助字也赤石ノ女メニヲ心トマラントヲ供ノ人
思也クレ日暮ニ至テモ其日ハ忘レテカヲコラヌ也ハヤ京ヘ

【九ウ】

早クヲ帰ナサレヨカラント云也大徳此御物ノケハ夕顔ノ卷ノ御息処ヲ取コ
ロス靈残アル也御物ケ杯ノコルト云是也ヨハミニ付入ル瘡也物ノケ残アル程
ニコヨヒハ静ニ御トウ留ナサレ京ヘ出玉ヘ也サモ大程ソシナモノト人々云
也君源モカウシタ処ニツイニネヌ又故ニ然ハ明日暁ニ帰ラントノ玉也日モ

三月ノ晦比日永ク外ニ用ナヒ也タ霞フカヒ其暮ニマギレカノカノウヘカ
ラミル小シバ垣也人々ヲ供ノ人々(ハ)ハヲヤドノアジャリノモトヘカヘ
ス也惟光一人ツレコレヲノゾク也紫上ヲ初テミル事也紫上八十歳バカリコ
次ニ出也タバ女ヲ召遣ト云カノソトカラミタ処ガ僧都ノ西面也コレハ尼也
紫上ノハバキミ僧都ノ妹也彼女遣タハ尼也

《三月十四日會補》

△唯(八丁ヲ)山ノウヘノアサリノモトカラ見ルニ同シ小柴垣ナレ
ドモヨウスヨク殊ニ女出入スル故ノゾキミルニ彼僧都ノ西ノ方ヲ

《○七丁ウ旅ネモノモ何ニ對スルヤ日意ナシ唯文ヲイタハル也》

《○八丁ヲ唯此西面ニシモノシ云ハ限ル詞敷日西面シ切テト云様也》

【一〇オ】

カタドリテ也シモハ西面ヲノミ也持仏女(四丁ヲニ出)遣ハソレデアツタ
ト云事也スダレ持仏スヘ奉リテ行故ハシノスダレアゲ仏ニ花奉事見ユ中
家ノ中デノ柱也ヨリキテハ柱ノキワニナル也ケウ聞ユイト元ヨリ病者デ
病養生ノ為ニボウノモトヘキテアルソノウス先デ僧都申サルソレ故ナヤマ
シゲニ也元ヨリタレトモ源シラヌ也四十ヨイ人ト見ユル也ツラフクラカ
ハ丸ガホ也マミマハ目也目遣ノキミ也ソガレハ尼ノ事也帚木ノ卷デモ云
凡古ノ尼ハソルニ非ス髮切テアルソレヲソグト云也却テ長ヨリハ風流ニ見ル
也キヨケ此尼ニ付テアル人ハサツハリトシタ女二人付テアル也サテソノ外
ハ女ノワラハベカ出入返也アソブ中(ナカ)二十歳バカリト見エテ是紫ノ上
也白^キ衣ヤ山吹ヤ内ノ事故ハレノ様ニナヒ也走紫上ハシリ出也ハタニ友達
ノ様ニ多ケレドモ似ルベクモ非スコノ紫上ウツクシイ也成人シテアレハヨウ
ナラント見(エ)ル也カミハサゲカミ也扇スクビロニナリアル也扇サ

カサマニシタ様也ユラ／＼ハ長イキミ也「初春ノ

（○八丁ウ私考曰山吹ハウハキノ色ナリソレ山吹色ハクチナシ染ヨリヤツシ出シタル名也表黄裏紅ナルヲウラ山吹トイヒ表ウスクチハ裏黄ナルヲ花山吹トイヘルヨシ也法曹至要抄云々）

【一〇ウ】

「一」テニトルカラニユラグ玉ノヲトヨムモ長イキミ也顔ハ一是ハナクキミ也児ドモハナケバ目ノハタスク赤フナル也尼君ナゼナクゾ同児トモトケンクハデモスルカ也尼君ノ紫上ハ立テヲル十歳ナレバセ高也尼ハケウ足ニカヽル故ミアゲル顔似ル也偕ハ子ト見ヘル也尼君四十バカリ故十歳ノ子アル也雀ノ子一紫上ノ詞也イヌキハ女ノ名也イヌギミ也抄ニアル榮花物語ニモアルト也ソノスヽメ一ハフセゴハ香タク時ニ上（ウヘ）ヲヽウ者也トメ香スル者也抄ニハ鳥ヲイルヽ籠トアルソレニ非スヤハリ香タクフセゴ也ソレニ入レテ雀ヲ養ヲ云也是隔句也フセコノウチニコメタリツルスゞメノ子ヲイヌキガニガシツルトアトヘカヘル也イト一残多也ソレデナク也コノキタル一前ノ（八丁ウ）キヨゲナルオトナ二人（オトナ二人）ハカリトアルソノ一人也ソノヲトナガ云様ハ例ノソコノイヌキガソノウ者也紅葉賀ノ巻ニモ紫上ノヒナ打クダキ機嫌ソコナフ事アル也ソノウ者也サ・イ・ナ・マル也ハ罪ノ心也ツミ也イト

（○ユラグハノブル也レイロウト書ユラリト付アルレイロウハ玉ノナル聲一説ハアキラカト云説也ユラグハユルラカニノブルト云心デアランカ也レイロウハ通マイ也アチノ註ニノビル心アルマイ也）

【一一オ】

心ニ付ヌブ調法ナシヤウト也イヅカタヘカ一彼ヲトナノ詞也イヅ方ヘカ其雀ハイクゾカハイラシクヤウ／＼ナリツルハ馴（ナレ）ルト書ナツイタト見エルソレニ非ズヤウ／＼ナリツルハ成人ノキミ也鳥ノソダチテ大キフナル毛ナドハハ雀ナルキミ也カラス一是ラ面白書様也カラス見レバクハヘテ殺也立一ハヲサナイ子慰メルキミ也ユクトテトラヘラルヽニハ非ス紫上ナグサメル也カノヲトナノヨウスカミハ一ヨウスヨイ人也少納言一ソダテヽ行ヲトナヲ少ナ言ノメノトヽ人々ノ云コト聞エル也コノコノ一紫ノ上ノ乳母（メノト）也尼君一尼君ノ云詞ニイデハ発語ア・ナ・ハアヽナアヲサナヒコナタモト云キミ也云カヒモナヒ幼（ヲサナイ）ヨウス也ヲノガ一我トシヨリ四十ナレバトシヨリト自身云此様ニ短也ナニトモ一ヲモウシテアラデ也雀一ソレヲモナントモ心ニ思ズ也程ヨハヲサナイ子ノ程ヨハイヲサナイ心ジヤト也ツミ一鳥ヲカヒナンドスルハ罪ウクル事ト度々云テ聞ス也心一心ウ

（○私考曰少納言トハ中藤格ナル女ノ呼名ナリ又メノトノ事ハキリツホノ巻ニシルシヌ）

【一一ウ】

イ事ゾト云嗟嘆也コチヤトイヘハ一コチヘヲジヤレト云此ハゞ君ノ為ニハ孫ゴ也ツイ一ハモノ云ズ腹立マギレニツイスハル也ツラツキ一紫ノ上ノヨウスカハイラシク打ケフリハホノカニホンノリトシテボヤ／＼トシタテイ也眉毛ノヨウス也イハケナク一児ドモノテイ也カイヤリタル一ハシドケナクカイナデ付アル也小児ノテイ也カムザシ一マダ十二テハ筭（カンザシ）セヌ也筭ハ髪マゲル時ニ今ノカウガイノ様ニスル也今セヌ也筭デモシタラバサゾヨカラントカネテ思フキミ也ト是ハタゞカンザシノザシハ面ザシノザシノキミ也ウ

へニヒタイツキトアル故ソレデ髪ノ様スヨイト云也ネビ―ヲトナシウナルガ
ユカシイ也サルハ―トハソノ同トマル子細ハ也源氏ノ限ナフ心ヲ尽ス藤壺ノ
女御ニヨリ似ル也マモラル、―ソレカラ顔ガマモラル、也泪―藤壺ノ事思出
ソレ故藤壺故泪ヲチル也藤壺ニ似ルハヅ也藤壺兄ノ兵部卿ノ宮ノ子也此紫ノ
ユカリデ紫上ト云也尼君―尼君紫ノ上ノカミカキナデ、

（○私考曰カンサシトハサイシノ事也文字ハ釵子又ハ笄子トモ見エタリ是ハ
オトナニ成テ髪アケシタル時サスモノ也サシ様ハ雅抄ニ委シ図アリ可レ考以レ
銅作レ之金ヲヤキツク）

【一二オ】

ケヅルモナデ付ルキミ也サゲカミヲサゲヲク也抄ニハ髪ユフト云ユフニ非ス
ナデツケ置也スベラセ也ナデツケル事イヤガル也イト―紫上ノサマ年ヨクア
ヅナイ也十歳位ナレドモ八歳位ニミユル也哀―アマレ心モトナヒ也カバカリ
ニナレバ―是（コレ）程ノ年ニナレバソレ程イトケナフナイ人モアル也故姫
君ハ―此尼君ノ女メ也紫上ノ為ニハ母ゴ也今云兵部卿ノ宮ノツレ合也トノハ
ソノ尼ノテイ主デコヒメ君ノ為ニハヲヤゴ也親ノワカレ得トガテンシテ悲タ
也タバ―只今我が死シテアラバドウシテヨニスマンゾタレジャハゴクム者ア
ルマイ也啼ヲ源ノ見ルモス、ロニ―身ニカ、ル事デモナクタレトモシラネド
モス、ロハ不*変也心ナラズカナシヒ也オサナ心チニ―祖母（ハバノ）ソフ
云故サスガ二年ユカヌ幼人ナレドモ祖母君ノカナシミヲ見テサスガニ立反テ
幼ナレドモサスガニカナシソウナ顔ミテフシメニ―カナシウナル故ネル様ニ
ウツブク也ウツブク故乱カミツヤ、ハ光アツテウツクシイ也

（○十丁ウイミジウコレモホメル詞カ曰然リ）

（○スラントハ如何スルランカ曰然リ）

【一二ウ】

○「生タ、シ―紫上ノ生立テユクヤ我トコヘ行ヤエン近シレヌ也若草ハ紫ノ
イトケナヒニタトフソレアトニ残シテ露ハ我ニタトフ露ハドウテンシテハユ
クソラモ見ヌ也空―デ消トイヘドモ露ニナツテキヘテモキユル前後モ忘却也
ソレデ露トアル也又―少納言也ケニ―消ン空ナキト云ガ◇（ゴ）尤也

○「初草の―カケ哥ハ若草也ハ初草也同事也皆春ノ若イ草也抄ニモ引伊物
ニ業平ノネヨゲニミユル若草ノトアル返哥ニ初草ノトアル同事也ソノ両説デ
ヨムト見ユドウナランヤラ知レヌ其アリツキモ見ズナゼ消トスル随分長、生
シテモリ立玉ヘ也僧都―アナタハ是ハ西面ニヲル故房ノホウカラクル也僧都
ハ尼君ノ為ニハ兄（アニ）也此僧都ノ処ヘ尼君ハ妹故病氣故靜ニ養生ニキテ
ヲルソノヨウス先デ源ヘ物語スル此方ハソトムキデアル故ニアラハ也ソトカ
ラミエン也シ、モ、ハ今日ニ限テツイニソレニヲラヌ人也此カミノ―ヒジリノモ
トニワラハヤミヲマジナヒノ為ニ―也タ、

（○十丁ヲ哥ノソラナキ如何曰ソラニ心ナシ今モ俗ニ急デクルソラナカツタ
ケレド、云様也心ナヒ也）

【一三オ】

今キ、ツクルイミシウ忍玉フ故エ聞ツケン也隔句也イミシウ―故エシリ侍ラ
ズカクス故エシラズタ、今聞也コ、ニ―ソノ近処ニヲリナガラエ御トムライ
ニモユカヌ元ヨリシラヌ故也アナ―尼君ノアナイミタイ事ジャヒヨシナ事シ
タレ平生テイデ打トケテヲル也源ハノゾキアル也此世ニ―ソコデ僧都ノコノ
ヨデ人ガノ、シリサハグ也美男ジャノ諸芸通達ノト云也カウシタ源ノゴザル

序ニ近付請招（セウダイ）セント也ヨラステタ我ラ如ノ法師サヘヨハイモ返ル様ニ思フ源ノヨウス也イデー先人ヲヤラント也カヘリーソコロノゾキステ、帰也哀—是カラ源ノ心ノ中ニ哀—ハ紫上也カハイラシイ人也カ、レハ—カウシタ事故紫上コンナ事アル故ニ此スキモノドモ—ハ註ニモ見エヌ是ハ帚木ノ卷ニ左馬ノカミヤ藤式部セ間ノ女ヲミルコトヲ品定云也コノ物語スルヲコ、デ思出シテコロ—ミマイ人ヲモコンナ処クマ、アルク故ニミル也サルマジキハソウアルマジキ也ミマイ人ミル也

（○イミジウ忍ヒ玉フ故エシリ侍ラズ唯今ナンモツケ侍ルトツバクヤ曰然リテンドウ也）

（○十丁ウ此イミジイハイマ、シイノ心歎曰キツウノ心也）

（○十一丁ヲイミジウ如何曰キツウ也）

【一三ウ】

タマサカニ—タマサカニ立出テサヘ思ヒノ外ナ人見ル面白ト也サテモ—ソフアツテウツクシイチゴテアツタ也中ノ人ハ藤壺（ツボ）也自由ニナラン故ソノカハリニハヤハ願キミ也思フ心—キツウ思ヒツクレソコデネコロビヤル処（トコロ）へ使（ツカイ）クル也僧都カラ使僧キテ惟光ヲヨビ出シテ光ニ對面スル程—マ処ナフセバイ処故使僧来テ口上云ヲ源モ聞也ヨギリ—是カラ使僧ノ口上也ヨギリハスギテ通ル也僧都ノ門前抔通ル也只今承ル也驚ナガラ承キモツブレル故早速ユカンナレドモナニガシ—ハ私也私此寺ニヤルハ御存ナルヲソレヲ忍ビテ御沙汰ナシニナサルソレヲ御（ヲ）怨ニ存ズル也ウレハシクハウレヘラレ怨ニ存故思ヒタマヘテナン。ヲカクシナサル故ソコ遠慮スル也エンリヨノ上ニ少シ怨フクムキミネダレル処也クサノクサニ非ス旅故ニリヨ宿ノキミ也イト—イト残念ナホイニ叶ヌ也ヲヤド申タイ非（ニ）也ソコデ返答也イヌル—此節ハ◇（二丁ウ）三月（ヤヨヒノ）ツゴモリナレバト前ニ

アル三月ノ十日比ヨリヲコリフルヒタビ—ハサイ、ニナル故コ堪ガタキ故人ノ教ノマ、ハ彼北山ノナニガシノ寺ニイミ

【一四オ】

ジキ阿サリマヂナヒスルトサイ初ニアル其通デニハカニ急ニ取モノモ取アヘズ山へ入也カウヤウ—此様ナシユゲン者ノ加持シテツイヨコリヲチヌ時ソレハフツガウナ氣ノ毒ナ也タ、ナル—祈禱ハキク事アリナンボ徳アル人カヂシテモ聞ヌ事アル故シルシナヒモ大事ナヒ事ナレドモシルシナヒハ加持セヌリアシイ也ソノ人ノ為ハルイ也ソレ故カクシテ来タ也追付ソレヘモ参ラント思也程ニ僧都ノ方ヘモ惟今此方カラモ人ヤラント云細流ノ註アシイ也ヲツ付我ユカント也ヲツ付僧都クル也法師—此僧都法師ナレドモ法師ハキグツハナ者ナレドモ此僧都法師ナレドモヨウスヨイ人故恥シイ也人ガラモウヤ、シイ也セ間カラモウルハシフ思人也カル、シキ—源ノ無人デクルテイヲハシタナク僧都ヘ對シテ如何ト思召也カク—僧都ハ三年ノ禁足デ去年ヨリコモリヲルコ年デ二年トハナシスル也同—テ前モ同ジ柴ノ庵ナレドモテマヘニハ少シスバシキ水ノ流モアル●ソレ御覽（ゴラウジ）サセント◇（テ）也夏ノミナラズ春

【一四ウ】

デモ清浄（セウ、）ニサツハリトシタ処ガスバシキ也サツハリトサハヤカ也浄土ノコトモスバシキ国ト云様也シン切ニゼヒトモ御セウダイ申タイト云也カノ—源ノゾイテアル時◇（十丁ウ）コノヨニノ、シリタル光源氏—此序ニゴ説ナサント云源ヲ未ミヌソレヲミヨト也コト、—ゲフサンニ源ノ事僧都云聞ス也ト云ウハサアル故源ノユキニクウ思也コンナ者也アハレ—紫ノ上ヲモ—返ミタク僧都ノ坊へ行也イテミルニ僧都ノ房ノヨウスイト心—風

流ニスミナシテアル内へハ入ミレバ猶ヨイ也ヨシアル様ニ同シ草木ナレドモウへ三月晦ノ比ナレバ月ノナヒ比也ヤリ水ハ泉水也灯ロニモ火マイリハ献上也御馳走ニ火トボス也カバリハ金(カネ)ノカバリニ薪(タキ)デモ入レテ上へツリヲク水へウツル様ニシテヲク也トウロハ石ノトウロノ様也カクベツ也南面ガ正面也ザシキ也ゴ馳走ニヲキヤクヲ出トトリマカナウ也ソラバツトキヤクゴザレバドコトモナフ焼テヲク也オクフカウ思ハル也ミヤウ香ハブツドウ也寺事故ニ仏前ノ

〔○哥ニモスバシキトヨム也〕

〔○カヽリ火ハカネデカゴヲシテ其ナカへ薪ヲ入レテモヤシテカネノクサリニテツルエ杯ニ多者也薪ハ又アトカラ入レル也〕

〔○名香ハ仏家ノ焼香ナリコジセンダント云様ノ者也〕

【一五才】

テイ也ミヤウ香ハ名ノアル香也仏間ノ名香也其上源ノヲタキ物ノギヨ衣ニタキシメタ焼物カクベツ也追風ハ源ノ衣ニ焼シメタガ風ニアリ腋へ匂フ也船ノ様ニマホニハライ風ノ心ニ非ス衣ニフレ腋へ匂フ云也榭ノ卷ニ桂(カツラ)ノ木ノライ風トモアル桂ノ木ニ風當ル也カク別ノ事ナレバ源ハ僧都ニ定テ對

面シテアルニ内ノ女中タキシメ心遣シテアルソコデ僧都ガ源へ物語シテ云聞ス也僧ハ俗ニ無常語リ聞スガ礼義也我ハ藤壺密通指事也アヂキナキワケモナヒ事ニ心シメ一生ガ間コレヲ思ヒナカムベキ也マシテ況ヤ後(ゴ)セハ其ザイクハニヨリドウシタウキメミント也カ様ノ山林へ引込テゴゼノイトナミモシタク思也ソフ思フコトカラハヤヒルノ事思紫ノ事思出也モカラハモノナガラ也ソレナガラハヤアトカラ也紫ノ事心ニカヽリ恋シヒ也コヽニコヽニ女中見ユタレゾドナタゾト云出ニクイ也房主ニ女ノ事云ニクイ也是ハ抄ニモアル夢

〔○榭卷ニアル也外ニモ追風ト多ク出也タゞ匂フ風ガ吹テクル事也〕

【一五ウ】

ヲ云也伊勢物語ノ面影デ書トミエル也ケウ今日コヽヘキテ其ユメコンナ処デアツタト也僧都ハラハルハナンゾ好色ノ事被仰カト笑也サツソクナル物語ナル也ヲ尋ナサレテモソレハヲ心ヲトリナサレント也僧都ハ尼君ノ事ト思也ヲ尋ナサレテモ風流ナ人ニ非スビツクリトセント也故ハ参テアルはハ尼君ノツレ合僧都ノ妹ムコ也エゴ存シナサレマイ也其北方ハ私ガ妹即尼君也カノ妹ムコカクレアマキミ出家シテアル此比相スグレヌ故カクノ如ク私禁足シテアレバタノモシ心静ナ処故ニ養生ノ為ニキテアル也カノカノ大納言ノ娘カト思召違也スキヽ好色ノ事ニ非マメヽシイ心デ問ト也ヲシアテニスイリヤウニ紫ヲミ女ト思也大納言ノミト假名デミト書也ミノ字假名デ書ハヽントヨム也是習也ムスメ娘一人アレドモ死シテコノ十ヨ年大納言尼君ノツレ合ハキンリへ御奉公ニ出女御ニモト思也本イノ如クキン

〔○私考曰故ノ字ノ事常木ノ卷ニシルス按察使トイヘル官ハ陸奥出羽ノ国守アルウヘニ猶兩國ノ事ヲ監察セサシムヘキタメニヲカルヽ也或中納言ニテモ兼任シ玉ヘリ或参議兼任ノ例アリ養老三年已来此官ヲ置タマフ也続日本紀ニ見エタリ〕

〔○十三丁ウ大納言ノミハ假名故ヲヽントヨム字ナレバドチヘヨムモクルシカラズ〕

【一六才】

中へエアゲズ大納言死スル也タゞ此モテアツカウテアルヲドウシテ人ノシ

ワザヤラ兵部卿ノ宮ノ中(ナカ)立(ゝ)シテ兵部卿ノ宮恐デキタ也モトノ
 一兵部卿ノ本妻也レキノウヘソネミ深也大納言ノ女メアケクレモノ思ニ
 ナリテ死スル僧都ハ出家故モノ思ナドシラヌ也物思デ死スルコトヲミスノ
 ミタ也サテハ一扱ハ其死シタ人ノ子ハゞ君ノ孫(マゴ)ト思也サラバソフト
 思也

十四丁ヲ

△ミこの御すちにて一◇(十三丁ウ)カノ大納言のミ一初僧都ノ物語ニノシ
 ノ妹ノ尼君ハアセチ大納言ノ妻女也アセチ大納言ハ今ハヨニナクシテ久ナル
 ト云故源ノ被仰其シナレタ大納言ニ紫ノ上十歳バカリナルヲ尼君ノ子ト思也
 御假名デミト書ハヲノントヨム事也御ト一字書ハ処ニヨリドチヘモヨムベキ
 也「ミトモヲノンノトモヨム也」是師傳ウケネバナラヌ事也スキノシキ一
 好色ノ事ニ非ズシン実デ問也スイリヤウニ祖母君ノ娘ト思也ムスメタゞ独一

〈○アハセツノツハ何ノ心ナシヤ曰然リサクラカガシテ今日モクラシツノツ
 ノ様也又ノジノ様ナ者也〉

【一六ウ】

僧都云ハナル程故大納言ノ女メ尼君ノ女メアルウセテ十ヨ年ニヤナルナラ
 ト也故一故ハ死シタ人ノ事也フルウナルキミ也是モ史記ヤ漢書ニ死シタ事物
 (ブツ)故ノトアル也師故方説ハモノフルウナリテ用ニ立又心ト云其外説
 サマノアル仏家デハモツコト云也天子ヘミヤヅカヘニ出サント思也イツキ
 カシツク也其ホイノ一大納言ノ思ホイノ通ニナリミヤ仕ニ出サント思中◇
 (父)死シタ也尼君一人故ニ一人シテモテアツカウ也イカナル人ノ一ドウシ
 タ人ノナカ立シテカノ兵部卿ノ宮ガ紫上ノ父ゴ也後ニ乙女ノ卷ニハ式部卿ト
 アル後ハ源ノシウトナレドモ源トナカアシイ也兵部卿ノ宮ニハ御本妻アル也

兵部卿ノ奥故キツイレキノ也レキノニノリテ尼君ノ方ヘモアイソアシイ
 也ソレカラ尼君ノ女メヘシムケアシイ故アチノ嫉妬苦ニシテ死シタ也物思ニ
 一僧ハソウシタセ間ノ事ニトシヤクシテシラヌ也モノ思ニ~~其~~(ツキミ)
 スノニ君ノ女メヤマイ付ト知ル也サテハ紫上ハ尼君ノ娘(ムスメ)ノ子デ
 尼君ノ孫ト今思ヒ合ス也ミコノ御スヂニテ一元ヨリ

【一七オ】

兵部卿ノ宮ノヲ子故カノ人ハ源ノ御密通デ段々ヲ心尽サル藤壺ノ女御也女御
 ハ兵部卿ノ妹故紫上ノ為ニハヲバ也ヲバメイナレバ覺(ヲボ)エルノカヨヘ
 ルノト云ハ源◇(氏)デハ似タ事云也ソレカラヲコリヲバ藤壺ノユカリ故紫
 上ヲモ一ドアイタク思召也人ノ程モ一父兵部卿ノ宮故人ノ程モアテ也アテハ
 貴人ノ事也貴(タツトイ)也オカシウハ宜也中々紫ノ上十歳バカリ故ヲトナ
 ノシイ知恵アル人ヨリ却イ、シダイニナリソ立バ後ニハ面白ナルベキ也心
 ノマ、ニ一源ノヲ心ノマ、ニ教ヘソ立バ也ヲ、ハソダテル也イト一源ノ被
 仰ハソレハイタハシイ事也祖母君ノ娘ハ先立カ也ソレハ一カノ紫上ヲ弥尼君
 ノ女メノ子カト知(シリ)タク其人ニハ子ナヒカト也ナクナリヲ、方スイ
 リヤウナレドモナクナル程尼君ノ女メノ死スル時分ナラン其生レタ子モ女也
 ソレニ付テモ尼君孫故女メノカタ見ニソ立ントテ弥モノ思ヒノサイ促ニナル
 也ヨハヒノ一尼君ノ年ヨル後ノナゲキ也サレバ一ソリヤコソ孫デアツタト思
 也アヤシキ一僧都ニ對シテ御合点ユカヌ様ナ云ブンナレドモ尼君ノ女メ

〈○似タ事カヨヘルトアルヤ曰然リヲホヘノ意ハシラズ兼道按様ナヲスコシ
 オボヘタル処アレバトアリ此同事也〉

【一七ウ】

此後(ウシ) 口見ニ私□□イカ也(思フマイカ也) 聞エーハ右ノ願ヲ尼ヘ云モライテクレマイカ也思フ心アリテハアトヘツク也(アトヘツク也) ユキーハ葵上ノムコ故源ノヒタトユク也世ニセ間ニ私ノ心ウツランカ妻ノ方ヘユカン也葵上源ノ心ニ叶ヌ故ゼウジウ独ズミノ様ニシテアルマダ紫上十歳バカリ故ニツコラシウナヒ也常一平生ライノ好色ノ様ニ思ベキ也ハシタナクフソウ応ナ様ニ思ベキ也ガ思フ心アリテ前ヘカヘル也思フ心アリテ紫上ヲカ様ニ申ト也イト僧都ノ返答ニナル程辱事ナレドモマダスレドイトケナヒ也源ノ見トシラヌ也元ヨリ十歳ノ事也ヲ慰(ナグサミ)ニモ御近処ニ置ヘキニ非ズ源ハイ、ナヅケノ様ニシテモライタイ也僧都ハハヤ婚礼ノ様ニ思也ソモノ語ヲヲコス詞也女ハ凡女ハ年ユカヌ時分ハ親或祖母デモノノ介保シテクレル人ノ心マカセ也ヲトナニナレバ夫ニ從ヒ年ヨレバ子ニ從フ三從(ジウ)ノ道理也クハシクハ委ハ私ノ所存デトリアツカウ子ナラヌ也彼ヲバハ祖母ノ事ヲバノト源ニハアル也拾遺ノ詞書ノ事前云也祖母君ニ語り

(○十四丁ウ世ニ心一ノ世ハ付字歟日然リキツウ也セ間ニコンナ事ハナヒト云様也)

(○又マダニ説也マダノ説ヨシ)

【一八オ】

返答セント也スクヨカニ出家ノ事故ニツトリト云ヌ也少シアライ様也若キ源ノ先ノ相手出家故十七歳ノ源故エ得トモ被仰ヌ也アミダ僧都ノ云ハアミダ佛安置スル堂ニスルコトハ勤(ツトメ)スル時分也六時ノ勤(ツト)メトテ晝(ヒル)三度夜(ヨル)三度晨朝(シンデウ)ト六時ノ勤メアル今

初夜也初夜ヲマダ勤メン勤テヲツ付コントテ立ツトメスグシタ也君ハ源氏

ハ瘡後故ゴキ色スクレヌ也雨一時節ノ景氣也雨フル故滝ノ水モマシテヨドミデ水ノヲトスル者故也上ヘカラ落ル滝ナレバヨドミアルマイ也古今ニ滝津セニモヨドハアルトヨムハク布(フ)ノ上ヘカラ落ル滝ニハヨドナヒ也滝ニタテ滝ヨコ滝ト云アル吉野ノ滝ニウカミ出ルト云吉野ニ堅(タテ)滝ナヒ也ヨコ滝也其ノヨドミデ聲高イ者也少シ僧都ノツトメノ聲聞エル也ドキヤウハ引声(インセウ)讀經(ドケウ)トテ節(フシ)ツケヨムヨソカラ聞バネムタソウニ聞エル者也ナンノ心ナヒ人デモ山里ナレバ哀(アハレ)也マシテナンノモノ思ヒナヒ人モ山里故モノ哀也源ハ藤壺ノ事今日ノ紫ノ事ドウ

(○晨朝() 中日日没(ニチモツ) 初夜夜中(ヨナカ) 後夜(ゴヤ) コレヲ六時ノ勤メト云也)

(○十五丁ヲトケウノト如何曰ハドクジユノト也)

【一八ウ】

ゾモライタク思様也カレコレ思案シテアル故ネラレヌ也僧都ハ初夜イマダ勤メ侍(ラ)ズトイヘトモ四ニモナル也尼君ノ方ニモネヌ様ニ聞ユシルクハ著(イチジルイ)也源居ル故奥デモノ云ソロノ故立居フルマイソロノスルズノ一珠数(ジユズ)ノヲトホノ聞エナツカシウ付々()ノ女中ソノノスル貴人ノヲルテイト見ユ貴人ノヲルテイニ聞エウズ高ク聞エル也源ノヲル表トアマレ間ナヒ故ニトハ外(ソト)也ソトノ障子ノ中ニ源ノ方カラ見エン様ニ立テアル屏風ヲ少シアケテ扇一人ヲヨブテイ也中カラ源ヲ出トハ思ヒモヨラヌ故聞シラヌ源ヲ出ハシレテアル聞シラン様ニスルハ如何ト内ニ云故申サリソコデ出テクル人アル也申サリハソロノノクルキミ也必申サリテニジリクルニ非ズソロノノクルト云ン為也少シ出テクレドモ女故源

ノ少シ退也アヤシヤタレモナヒソウナト源ノモノ被仰ヌ為也チト疑フキミ也
佛―是寺也尼君ノ方ヨリ人出テクル故アチニ聞ソコナヒカネ引故寺故カウ被
仰也仏家ニ◇(抄ヲ引)從冥―ト云語方

○十五丁ウトニ立―如何日ソトニ也外ト云デセウシヨリソトニ非スエンギ
ハナレバト、云也

○少シ退ヲ女ニカケテハ如何日少納言也源ニ非スコレアル事也ズカ／＼ト
キテ少シ退也

【一九才】

便品歎比論品ニアル夜中ヲクラキニヲ見舞申ハ佛ハ冥(クライ) 処ニアル者
デモ知ルハヅ也尼君モ我居ル事知ルマイニ非ス更ニタガウマジクアル者ヲト
ノ玉フ也源ノヲ聲ノワカウ貴人ヲシウ聞エル元ヨリ宮様也打―少納言ナレド
モ云ベキ様ナヒ也源ノ若ウウズ高人故云ベキ様ナヒ也イカナル―ドナタゾト
ナタカラヲ出ゾ覺束ナヒ也是ニ説アル内ニハ主二人アル僧都ト尼君ト也下チ
ヘノ消息(セウソコ)ゾト也下チカラソト云方ヨイ也ゲニ―打ツケハ早速今
日爰許(コ、モト)へ来(キ) 早カ様ニアン内スルハ覺束ナフ思モ理ナレド
モ也

○「初草―初草ハ惟草ノ若(ワカイ)也若草モ初草モ同事也春モヘル草也紫
ニタトフ紫上八十歳バカリ源ノ小柴垣ヨリミル祖母君少納言若草初草トヨム
ニ付テ又初草トヨム紫上ミル故旅ネノ袖モ露カハカントヨム也此通尼君ヘ云
テクレヌカト被仰也此出テクルハ少納言紫ノ乳母(メノト)也サラニ―少納
言云ハ殊更ニカウシタヲ哥ウケ御返答スル人ナヒ也

【一九ウ】

聞ワクベキ人ナヒヲ仰ト僧都ノ物語デシルベキニタレニ是ハ渡スノゾト也自
(ヲ)―自然ニカウスルハ子細アツテスルナラント思へ也イリテ―少納言◇
(ハ)入テ尼君ヘソノ哥云聞ス也初草ノ―ト云テ聞ス也アナ―尼君被仰ハア
ナ風流ガマシイ事也コノ紫ヲヨゾクハ年タケテ哥ノ返答モスル様ナトサゾ源
ノ思召ランサルニテハ―ソレハソレハソレアルガ初草トヲヨミナサルナラハ我前
ヨム若草ノ―ト云哥ドウシテ聞タマヘルトサマ／＼工夫シテ少納言杯ト相談
シテモシレヌ也段々思案スル間ニ久ナレバアマレ返答久ケレバ風流也

○「枕ユウ―草枕也旅ノ事故草枕ユウト云也草引ムスビ枕トスル源ハコヨヒ
バカリ山ヘゴザリソノヲ袖ヌレルト云ミ山ニゼウジウヲレバ中々カハク事ニ
非スヲ前(マヘ)ノハ―ヤバカリゾトアチラカラ紫事云来ヲタゞ旅ネノ袖ノ
露ト景氣バカリデ云也中々此方ノ袂(タモト)ハヒカタキ也

【二〇才】

ゼウジウヌレル山ズミスレバ露深故也カヤウノ―源ノ被仰ハカヤウニ人ズテ
ヲ以テ少納言ニ哥遣サレ尼君少納言ヲ以テ返哥シテマダ對面セヌ也カ様二人
ヅテナ事私未ダシラヌ也皆直々(ジキ／＼)ニ云也辱トモハ慮外ナガラカウ
シタ序ニ実／＼シウギヨ意エタキ事アルト也尼君―尼思様ニハカノ紫ヲモハ
ヤ十五六ニモナル人ト思ソレデカウシタ哥クルナラント也源ノヨウスウツク
シイ人ナレバナニ源ヘ御アイサツ申サレ云様アルマイ也ハシタナフ―カ様ニ
被仰テヲ逢ナサレズバフツガウニ思ハント少納言初メ云也ゲニ―ナル程ワカ
ヒ者コソ恥カシイ事アルベケレマメヤカニ―ナル程カヤウニシン実ニ実テイ
ニ被仰ハラソレ多トソロ／＼ジン／＼トヨル也イサリ(イサリ)―ソバヘイ
テモ直ニ逢ニ非ス堂上方ハ男女ハ几帳ゴシ也打―早速ニ参リヲ目ニカハルヤ
否カ様ニ云ハモチツト思慮シテ云ベキト云様ナ今日ハ序也心ニハ―私ノ心ハ

浅フ思来地(又也) 是モ寺故佛ケハ深フ思フ心テイヲシラント誓モンノ

【二〇ウ】

様ニ被仰也源十六歳ナレドモヲトナシウ被仰腋(ワキ)ノ人恥シイ様也(イ様也)トミニモ一尼君ノ云ハ源ノアサハカニ思ハンカト仰故ニ私方ニソソンジモヨラヌヲ出ノ序ニ被仰モ浅クハナンノゾンゼンサゾ御シン実ト思也源ノ被仰ハアハレ一祖母ゴノ孫母ハトリヲクレミナシゴト聞也カノスギ一紫ノ母ゴニ君ノ娘ソノカハリト(ト)思召シテクレヌカ也ナイテンハナンテンカ也イフカヒ一私モ未年ユカヌ中ニムツマシ一父桐壺ノ帝母更衣也其様ナ歳ニモ皆別レアヤシウ身ハウイタ様ニ存シテ年月重ル也同私モ親ナシ紫上モ親ナシ也タグヒニ一同ジタグイナル程ニ私ニ下サレ也カ、ル一カウシタ折モナヒ故アリガタクテナン仍テ今●●(迄エ云)ヌトアマシタ者也オホサ(ヲモフ)レン一カウシタ序幸ト存ズル故何(ナン)トカ思ベケレドモヨツテカ様ニ申ト也イト一ソレハ辱フウレシウ思事ナレドモキコシ一ヲ聞違アラント存ズル左様ノ年ニ非ズモハヤ年ユクト思召ナラントマシウ一隔心ニ存也アヤシキ一数ナラヌ私ヲ頼モシ人ニシテアル人アル也マダ云カイナヒ若輩ナ者也中々御説ナサレユルサルベキニ非ズズント幼

【二一オ】

小故ヲソバニヲカレヌ也中々惟今(タバイマ)デハエヲウケ致スマイ也ミナ一皆委ク委細承テアル也処一セ間セマフ思召サズトモ思一私ノ思ヒヨリ様ハセ間ノトハ違也當分ハ云ナ付ノ様ニシテモライタイ也婚礼ノ事ニ非スコノヲモウシハバカラデ思ヒタマヘ一トツバカヌ也思フシハバカラデ心ノ程ヲ一トツバク也イト一トカク尼君八十歳バカリ故似(ニ)合ヌ事被仰ト也サモ一得ト年ノ程シラズカ様ニ被仰ト思故ナニブン進ゼント云ヌ也僧都一ソレカラ僧

都ノ初夜ノ勤スミモドル故源モ引表ヘゴザルソウ被仰カラハ是非トモ今晚御返答聞ニ非ズカ様ニ云入テ置バゼヒトモ申ウケント思故頼モシイトテ本ノ通ニ屏風ヲシ立也

《十八丁ウ三月廿六日會》

△曉方一ハ一僧都一是ハ源ノ上(カミ)ノ阿舍利ノモトヨリ僧都ノ方ヘキ僧都ノ留主ニテ尼君ヘ紫事ハシノ云ドモ御幼少故ウケ引ヌ処ヘ尼君ノ兄ゴ僧都勤メスミ帰ルソノ段デハナヒ故ヨシハ打ナグルキミ

【二一ウ】

先ヨフゴザルト云様也カクノ如ク云テ置バ必竟ハゼヒト思故ヲ目ニカ、ルヲ頼モシウ思也奥ト表トノ間ニ立ルカラカミノ様ナ者ヲシ立也曉一表ヘゴザルニ僧都曉ノ勤也六時ノ勤ノ曉ハ晨朝(ジンデウ)ノ勤也法花◇(經)三昧也三昧ハ正受(ゼウジウ)ノ正(セウ)定(ニ)トホンズトアル心ニシテ仏ノ心ヲ一ツニウケコミ直ニ受ソレヘ心ヲカタメルヲ云釈要ニ出三摩地(ニ)トモサマヤトモ梵語デハ云心一ツニシテ戒ナレバ戒定(ニ)ナレバ定恵ナレバ恵ソレヘ打ムケル事也ソレ故今デモアノ人ハ哥三昧ニ入ルト云ソレヘ一ツニ心入レル也法花ヘカタムキノレヲ行也センボウハ法花センハウ也セン法ハ仏在世ニ無事也天台ノ智者大師ノ作也法花ノモンヲ和ゲヌキノ首ノ肝要ナ事ヌキ我身ノ事仏ヘザン悔(ゲ)スル也セン法ノモントテ一卷アル也天台真言ニモアル也節(フシ)付ウタウ也センハハヂ也我ハヂヲザン悔(ゲ)スル也ゲハクユル也仏ヘ罪障ヲ説也ザンゲスルハ悪アラハシテ来地(云)也聲ハザンノ音也我ニアタシタ者ノギテモ前方ソコ元ヘ對シテ

【二二才】

力様ノ心フクムユルシテクレト云バ俗人デモ承知スルマシテ佛へ云バ猶也サ
ンゲノ為也セン法ノ聲ハ称名ノ聲也フシツケニ永々ト唱(トナヘル)也其聲
滝ノ音ト相加(クハ)シテ聞エル也

○「吹マヨフ―哥ハ聞ユ吹マヨフハアチへ吹キコチへ吹様也風ト云者其様。吹
ニ非ズ吹テクルヲ吹マヨウト云也曉ナレバユメサメテ而モ其上泪催スモノ哀
ナル山里ノテイト也

○「サシグミニ―サシグミハ早速ソコヘクルトソノ俣也打ツケト同様也打ツ
ケト云五文字ト同コト也サシグミト云ハクムト云エンデ水ヲフクミ云五文字
也ソフナケレバチト云ニクイ也早速デヌレル也哥ムツカシイ也哥ハ聞ユル也
前ノ吹マヨウ―ハ源ノ哥也一説ニ源ニ首ヨムト云一説ハ僧都ト云返哥ト見テ
ヨイ也源ノ二首ヨムトスレバ早速我(ワガ)聞ヤ否(イナ)涙催様ナ山水ニ
ゼウジウスミテアルソコ元ノ心ハサハギハセンカ手

〈○十八丁ウサシグミノ訓如何日シラズ〉

〈○僧都ノ哥ニシテ自スメル心ト云ハ奢ニ似タリ如何日山水ニスンデアル也
ホコルニ非ス〉

【二二才】

前ハクルカ否袖ヌレルガト也僧都ノ返哥ニスレバ源ノゴザリソノマ、袖ヌラ
ス山水ニモ手前ハゼウジウ耳ナレテアル故ヌレ也耳―哥ノ両説ニヨリ違
源ノ哥ニスレバ哥カラツバク我ハサハクガサハギハナサレヌカ但(タバシ)
ハ耳ナレルカ也耳ナレ―ハ源ノ詞也又返哥ニスレバサシグミニ―スメル心ハ
ソコ元ハ袖ヌラス手前ハヌレヌ耳ナレル故ト也両説ナガラ先ハ返哥ニシテ
ヨイ也明―曉方ノセンボウ勤故ドコトモナフ夜明ル也三月ノ末ナレバ霞フカ

イ也終(シマイ)ノ霞也山ノ―聞ユ名モ―三月ノ末ナレバ京ニハ無ジブンナ
レドモ山ナレバ知ヌ花サク也ニシキヲ―花ノ白赤サキ交ルハ錦(ニシキ)ニ
似ル春ノ花ニシキト云事少ヒ様也洛陽ノ三月◇(春)如レ錦ト云詩アル也抄
ニモ元輔(モトスケ)哥ニ花ノカゲニ―ト云春ノニシキトヨムモ多也奥山ナ
レバ名シラヌ花モ咲其上鹿―ミ玉フト云珍(メツラシイ)イト云ニ付時分ハ
春ニ鹿ノアルハ珍イト云説アシイ也鹿ノ聲立ルハ秋ナリ鹿ハセウジウアル源
ハ京故鹿ナク事聞ヌ也タマノ鹿ミル故春ノ秋ノト云シカ別ナク珍クミル也
時節ニカ、ワラズ鹿ノ珍也ナヤ

〈○返哥ニシテヨイ証アリヤ日シレズ耳ナレノ詞ガ返哥ニシテヨイ也耳ナレ
ルカト問ヨリ耳ナレタト云ガヨイ也〉

〈○此詩出処如何日覺ズ白氏ナラン〉

【二三才】

マシ―珍ニ心移リ癩ノ事モ忘也ハ、テ、ズンド忘レシマウ也聖―源ノワラハヤ
ミマチナウ山ノウヘノ僧也年老テムロトニモエ出ズト前ニモアル也キツイ
老僧ノテイ也トカウシテハヤウノト山カラヲ~~キ~~(リ)僧都ノモトヘゴザ
リヤウノト人ニ助ラレテ也ゴシンハ身ヲマモル也ワラハヤミ又モノ、ケノ
キ禱也物ノケノヨハミカラ邪氣虚ニ乗シテ入ル癩也マダ物ノケ残ト前云也ゴ
シンハ加持也真言ノ加持ニ護()身法ト云アルキミノ類(タグイ)ニ見入
レラレン様ニトテウケル也私ドモモゴシン法ウケル也カレタル―ヒジリノ声
也年ヨレバ身ニユウナヒ故声ヒクフナリウルヲヒ無也スキハ声スクニ非ズ齒
ノスキ声ヌケヲイヌルシセンニ物聞エヌ也ソコヨヒガメルト云也ヨム人ノ思
様ニナヒハ腋ヘヒガム様也齒ノ間ヨリスク也ソレシユセウ也グウヅキテ―功
(コウ)入タ様ニシユセウニ聞ヌダラニト云者ハ皆梵語也真言家ニハ猶多也

法花デモダラニホント云普賢品(ボン)ニモアルアマレシユセウナ事故翻譯
(ホンヤク)

【二三ウ】

シテハ天竺梵字ニ書ヨリ功德(クドク)劣(ヲト)ルト云コト也故梵字(ジ)
ノ通ニシテソノマ、(俣)置也ダラニハ總持ト訳(ヤク)ススベテ持(タモ
ツ)ト書アチカラ来テ外ノホンヤクセズマツスグニ用ル故ソウヂトモ云也ソ
ノマ、置テ乱レチラヌ様ニスル也梵語デ用ハ皆ダラニ也キツイトウトイ事ソ
ウ也御一京カラ源モドルト聞葵上ノ兄弟ワザトクル瘧忘ル、悦云也天子ヨリ
モ勅使クル僧都一寧主ノ僧都京ナドデハ珍イ様ナクダモノサマノ者上も
時節春ハクダモノスクナヒニ谷ノ一ト云バトコロ杯ト云様ナ者持クル経*營
シテゴ馳走申也コトシ一前二三年ノ禁足シテコトシ二年バカリト云三年ノキ
ンソクハ◇(千日ナリ)三年ヨリチト内也コトシ一年キン足スレバ来年ハ秋
比ニ明(阿克)也来年一年丸デ勤ニ非ズ故コトシバカリノト云也フカウ仏ニ
譬ヒテアレバアジャリニ非也元ヨリ老僧故出ヌ是ハ尼ノ兄也京へ●ヲ供シ
テ行バヨイニ願アル故エユカヌ也中々一中々ハ却ケツク也三年禁足ノ願ヲ立
テ害ジヤト云ハ

(○フゲン品ハ法花ノ中ニアルアリコレラノ中ニ少ツ、ホンヤクセズニアル
也ナニノ真言カノ真言ト云皆ダラニ也不動ノジクナド是也光明真言ノ類也是
ヲダラニト云)

【二四オ】

禁足ノ願ムヤクナランカト思也オホミキ一ランサケゴシユ上也マイリガ御酒
上ル也ドノ哥書デモ是也アゲタマウ也オホミキマイルハタマウ也是ハ僧都ノ

身ヘツクマイリハ僧都カラ御酒上ル也タマフハ僧都ヘタマウ也山一是カラ源
ノ詞也山水ニ心トマリ面白ケレドモキン中ノ一ケレバナシテ下ニ心アマル也
先今日ハ帰ルト心アマシタ者也今ハ百人一首ノ時云「待トシキカバ今カヘリ
コンノ今」今コント云シバカリモ同事也近キ中ニコン也

○「宮人ニ一我立帰テアラバ都人々ニ天子初メ奉テ也此倉馬山ノ桜ノヨウ
ス語ン風吹ハチランカソレヨリ先ニ此花未アル中ニコン也都人ニカタリ同
道シテコン也キテモミルベキ様ニ都人ニ語テ同道シテ早フコントカヘル也御
一源ノ物語故源ヲトカクホメルト云テコハツカイサヘ目モ一ミル目ニモ文章
アル也

○「ウトン花ノ一ウドンゲト云者彼三千年ニ一ド花咲ト云珍イ花也

【二四ウ】

ウドンゲ咲ハ轉輪聖王(テンリンゼウヲウ)出セスル也テンリンゼウ王四ア
ル金銀銅鉄王也ナニ分人壽(一)ハ万歳ニ生レル天子也其天子ドコノ国ニ生
テモ一天四海ノ天子也其人天子ニナレバ四海メクルソレガユメノ如ニメグル
也其天子生ト輪宝生ル金王ニハ金銀王ニハ銀銅王ニハ銅鉄王ニハ鉄也金ガ一
チヨイ也ソレカラ四海水減ズル也輪宝先ヘコケテ行王ノ行程水ヒラク海ノ水
モ輪宝コケ行ハ半減シテ陸ニナル也四海巡事早速行也カハツタ天子也日本紀
ニ斉明(サイメイ)天王ノ時分カニ未仏法日本ヘワタラヌ時ニ宝鐸(チヤク)
アツタト也近江カニアル也宝鐸ハ仏法ノ者也アラン様ナヒ也天竺ニ阿育王ト
云アル是鉄輪王也世界マワルニソノ王ノ巡ル先々デ塔建ル其堂建処ノ宝鐸土
ノ中ニ埋レアツテミユトアル也ツリガネニ似テ塔ノスミニカケル者也コレ仏
ノナヒ前ニ日本ニアルト也是鉄輪聖王ノ塔ノ宝鐸ト云也源ノ此タビコ、ヘゴ
ザルハ轉輪聖王ノコザルト思也ウトンゲ

（○輪宝ガ金銀銅鉄カハルナリ是ニ依テ王ノ名モカハル也スベテハ轉輪聖（セウ）王也分レハ金輪聖王銀輪聖王銅輪聖王鉄輪聖王也）

【二五オ】

セヒトモテンリン聖王ノゴザルヲ示シテ咲花也ソフナケレハ佛生也僧都ハゲンヲテンリン聖王ニタトヘテ云也アマリキレイナ人故ニ云也ホ、エミテ源ニツコリト笑其花ハ時節アツテ三千年ニ一咲花ト云ソレハアリニクイ也佛（ホトケ）◇（出）トコソ承レテ前ニハ比セラレヌト也アノ方ニハテンリン聖王ト云ワレハ仏ケヘカケル源ノ卑下也アリニクイ者ノト也下知シテ聖ヘ不思議ノ下サル、也

○「おく山の―聖ノ哥也中々平生ムロノトニコモリセ間ヲミヌ行者ノ僧ナルガ松ノ戸ヲマレ／＼ニ明ル也年マカリヨレトモカ様ナ花ミント源ニ比シテ云也カノ◇（抄ニ引）足引ノ山桜戸―ト云哥ノ様也是ハ万葉ノ哥也感涙ナガシテサテモ／＼ウツクシイ源氏哉トミル也源ノ物語故トカク源ヲ譽也元ヨリ光源氏物語テ源ノ事書故ニ紫上ノ様ナウツクシイ女ナラベテモトカク源ヲ譽（ホメ）書也コレコノ一部ノ主意也御―道（ミチ）ノマモリニ被レ下也トコノニコノ五コノト云真言家ニアル也ヒトリノコト書ドモトツコ也独ハ一ツ也一心ニカ

【二五ウ】

タドル也瘡ノ加持也道ノケイ固ノ為ニコレ進ゼテ一心カタメ邪氣ノミ入レナヒ様ニスル也ミ玉フテ僧都―僧都ハヤドノ僧●也カノ阿ザリガ源ヘトコヲ御祈禱ノ為ニ進ルソレヲ見玉フテ也ミ玉フテニ心アル也僧都モナンゾ奉リタケレドモ貴人故扣テアル也アサリ独コヲ奉ヲ見玉フテ也ソレ見ネバエ上又心アノミ玉フテニコモリアル也コノ聖徳太子ノ―抄ニ説々アルクタラヨリサウト

ク太子コンガウジノジユズ得ル事見ヌ故ニモテアツカウ事也源氏ハ何デモ面影アル事デナケレバ書ヌ也ク・タ・ラハ百済国也ナンゾ證據アルカト云バ欽明天皇ノ時ニ百済ヨリ仏具種々渡ル太子ノ六歳ノ時也其時ニ金剛子ノ珠数ノ事無也時ニ抄ニモ引大和ノ元興寺（グハンゴウジ）ノ縁起百済国ヨリ金剛子ノ渡事元興寺ノヲ帳資財帳ト云ニ喜多迦子金剛子ト云モノ是百済国ヨリ献スル処ト書ソレモ聖徳太子ノ御所持ト書ヌ故シレネドモ河内本青表紙源氏二通アル河内本人用

（○私考曰聖徳太子トハ是諡号也本名厩戸ノ皇子又称異シテ豊總耳（トヨトシミ、ノ）皇子八耳（ヤツミ、ノ）皇子上宮太子ナト、モイヘリ日本紀推古天皇二十九年ニ委出）

【二六オ】

レ之者也其弟ノ行阿ト云人ノ源中最秘抄一卷アルソレニ聖徳太子百済ヨリ得処ノ金剛子ノ珠数事ミエズ欽明天皇ノ時百済ヨリ經律論渡ル其時ニモ大子金剛子ノ珠数渡ル事見エズ能海法師良觀上人ヲ行阿同道シテ大和ノ法隆寺ノ宝物ミルニ聖徳太子ノ珠数ニ三連アルソレニ金剛子ノシユズアル也書物ニハ見（ミエ）ヌガ儘ニ法隆寺ニアル是ナラン歟渡ルハ聖徳太子六歳ノ時也何ニモ見（ミエ）ヌ也元興寺ノ諸道具ノ帳ニ右ノ通アル百済ヨリ奉ハ疑ナヒ也時ニ法隆寺ニテ見ルト云也コレアルトハ見エル也百済ハ今ノ朝鮮ノ中也シテ高麗百済ヲ三韓ト云其中ノ百済ガクアラ也コンガウジハ今モ多者也古ハ少（スクナイ）ソウ也水晶ノサンゴノ琥珀ノ類入レセウヅクスル也カラ―ハスグニ其ノマ、カラカラジユズ入レタ箱也元ヨリカラカラク故カラメク也スキタル袋ハ今モアルアミノ袋キヌヤ木綿（モメン）紙デモシタ者也

（○行阿ハ定家時代也源中最秘抄板ナシ余所持ス）

【二六ウ】

ソレニ入也五葉ハ松也コンルリハルリハ金剛ルリ也ヤコ（シヤコ）ト云ルリハ紺（コン）ノ色ナ者故也元ルリハ少（スクナヒ）者也アツテモシロノ六ヶ敷者也チソウニ上タ也藤―時節ノ者也花咲タ故也人ニ物ヲクルニ時ニ咲花ノ枝ニ付ヤル風流也藤ナレバ藤山吹ナレバ山吹桜ナレバ桜ソレニアフ哥ヨミヤル花ヲ以風流也処―此山ハ元ヨリビシヤモンノ鞍馬ナレドモビシヤモンノ奥ヘ入り僧正ガ谷ト云アルソレ越（コエ）貴船（キフネノ）明神ト云アル是ハ人呪詛（シユソ）スル処也ソレハ邪法也鞍馬ノウシロニ僧正ガ谷ト云アル名高キウシ若ノ事云処也コトノ外樹木シゲル処也其貴船ノ上ニ寺アルソコニ菓師安置シテアル右ノ手ニ紺ルリノ壺ヲ持也処菓師故ニ処ニ付テハ其山ノ塔ニアル仏薬師ナル故也御病後故養生ノ為ニ薬入レヲクルモ処菓師故ニ瑠璃ノ壺ニ入ル也君ハ―ヒジリハ加持シタソウ也其外ドツケウシテ聖（ヒジリ）ノ方に杯也其外ナンデモ遣ス事アランカト用意ノ者先達テ京ヘ取ニ遣ス今日キタ様也

（○私考曰爰ニ五葉ノ枝故サクラハイツレモ心葉トイフ凡草木ノ枝ニ物ヲ付ル事ハ其色ニシタカフヘシ梅カエノ卷ニクハシク見エタリ）

【二七オ】

其―其近辺ニナルカレイ俗迄モ然ルベイソレ相応ノ者遣ル金銀デモ絹（キヌ）テモ也ソレカラ經デモ自身ニ被仰付ズ經ハジユ經也經ヲ誦（ジユ）スル也内ニ―ハ彼僧都内ヘ入テ尼君ニ云也隔句也僧都内ニ入りタマフテト云ハ聞エ易（ヤスイ）也源ノ紫ヲ所望シタイト源ノ被仰付事ヲ也マネブハ源ノ被仰事ヲ

マツスグニソノ通云也トモ―尼君云ハ惟今デハ御返答云ニクイ也十歳程故也若―モシ実ニモラハント云ヲ志アラバ今四五年―是必ヨトセイツトセトヨマズトモ也予ナラウハ四五年（シゴネン）也サナン―ソウデゴザルト云也ホイ―サテモ是非ナヒ事ト思也御―源ヨリヲフミアル僧都ニ召遣フ小ワラハ也ヨイバ児（チゴ）ノ様也

○「夕間クレ―ヲ帰ジ分夕間暮也ホノカニ―紫上ミタ也源ノゾキミレドモアチニハ知ヌ也紫ヲ見タ事カスメテタベチラリト紫上ヲ見タガケサ（ケサ）ハ立煩テ京ヘ帰リニクイト霞ノ立エンデ云也御返―

【二七ウ】

○「マコトニヤ―是ハ紫ニカ、ラズ景氣一通ノ返哥也ジツナルヤ花ノ―ト云カスムルモチラリトホノカニ被仰ガ也カスムル空トハルハカリノ事ナレハ云ドモマコトカホノカニ打カスメ云御ヨウス実カ実デナヒカ此山ノ花ノアタリハタチウキト云ガ也一向紫上ノ事ニカ、リ合ズ景氣一通ノ哥也ヨシアル―ヨウスヨイ手ザンザト取ツクラハズ書也御―車ニ行京ヘ帰ル時ニ大殿―葵上ノ父ノ左大臣殿ヨリドコトモナフゴザルニ京ヘゴザルト聞テ御―公達ハコドモ也頭中将モ左中弁モ左大臣ノ子葵ノ兄也源ノコジウト也イトコ也カウ―カ様ノ処ヘゴザレバヲトモ申サント平生思ニ残多ト也イト―コレ程面白花ノカゲニ居（ヲラ）デ帰ハ残念也岩―花ノモトデ一興催シテカヘラント也岩ノカゲニナミ居テ御シユデモマイル也

《廿一丁ウ 四月朔會》

△頭中将―「―僧都ノ房ノモトヲ立ナサレシナニ京カラ大殿ノ子トモ衆大勢迎ニクルバ処也其君―トアル庭ノテイトミュヘアル―心ツケテ作ル滝也ユヘハ

【二八才】

ヨウス宜作立也◇(十二丁ヲ)少シス、シキ水ノ流モ御ランセサセントアル其滝也頭―葵上ノアニゴ也源ノ無ニノ朋友也弁ノ君―ハ頭中将ノ弟ゴ腹ガワク也ハ催馬楽(サイバラ)ニカツラキノ―トアルサイバラノ哥也ソレウタウ也弁ハ左中弁也◇(廿一丁ヲ)前ニ頭中将左中弁トアルソレ略シテ弁ノ君也此弁コ、デウタフ末々迄声ヨイ人也榊ノ卷ニ高砂(タカサ)ゴウタフ事アル初音(ハツネ)ノ卷ニモタ霧中将也中将ヲサ／＼ヲトラザンメリトアル也ドコ迄モ声ヨイ人也公達ト云デ頭中将弁左中弁杯也人ヨリハ―人ヨリ各別宜也伊物ニ此滝物ヨリコトニトアル也人ヨリコトニ物ヨリコトニヨイ也此頭中将左中弁ハ人ニクラベテハナマメク公達ナルヲ源氏ノ―兩人トモスグレルキミナルヲト句切テ持ヲル也打―ハ瘡後故ヨハ／＼トシテアル也岩ニ―岩ノ方ヘカタヨリテアルキミ也又モタレカ、リ居ルキミモアル也作タ滝ナレバ岩ヒキリ又シトネモ敷アラン(塔)ノ山ニヨリカ、ルト云ハヨリカ、ルニ非ヨルキミモアリ又モタレカ、リテモアランユ、

〔○私考曰トヨラノ寺在河内国河内郡是ハ催馬楽ノ呂ノ哥ニ葛城トイフウタヒ物ナリ河海ニクハシク見エタリ〕

【二八九】

シキ―イマ／＼シイ程冗竜(コウリヨウ)ノ悔(クヒ)アラン程見事也公達ナルヲ源氏カウスルハ公達ニモ目ウツルマシカリケルト隔句也例ノ―源ノヲ供ニ行隨身イツモヒチリキ吹人アル也隨身ハサムライ也隨身ノセウ束トテ一通アルカチナド様ナ者キル也シヤウハ十三管(グハン)アル長短アル者也僧都―寧主アリヲウ琴也琴ト云ハ七*絃ノコト也箏(ソフ)ハ十三絃也処ニヨリコト、ハナシテヨミデ云バビハ和琴(ワゴン)コトヲシナベテノ惣名ニナ

レドモキント音デ云ハ七*絃ノキン也コレトハキンヲ指テ云也是ヲ御手―ト云心也同―山ノ鳥―トハ◇(抄ニ引)列子ニ伯牙―トソノ心也ミダリ心チ―元ヨリ瘡後デコト弾情(ヒクセイ)モナケレド、被仰也上手ノ辞退シテヒカヌモ無風流ナ故源ノ心遣也ミナ―其バ起(タツ)也アカズ―ニカラズカキナラズデスコシバカリカキナラズ故ロクニエ聞又ト云也タラヌ也モチツト聞タイ也イフカヒナキ―云ニタラヌ僧都ノモトノ房主(ホウシ)トモ、也アフハ合ノ字ノキミ也大勢ヲル故法師原サヘソレナレバ少

〔○私考曰ヒチリキハ箏也或咸角箏トモシルセリ其源ハ胡中ヨリ出ルヨシ也樂器ノ中ニハ他ノ器ニ劣リケルニヤ主上皇ノ御芸能ニハ用ヒタマハサルヨシ見エタリ其名管ハタ、海賊丸トイフのミにヤ〕

【二九才】

納言杯ツイニ源ノ様ナミヌ也此ノ世ノ―此人間セ界ノ人トハ思ヌ也コノカヘリモ合也僧都モ云ハアハレハサタンノキミ也ドウシタ宿縁ニテカウシタ御ヨウスナガラ五濁(ゴジヨク)ノ末ノ世コノ六ヶ敷―ハ隔句也イトムツカシイ末ノ世トモナリ又日(ニ)本ハ粟散辺土(ソクサンヘンド)故イトムツカシイ日ノモト、云歟何分浄土ナラヌ也佛在世ニ生ベキ也末法ノヨニ生也正像末法(セウゾウマツホウ)ト云事アル也此―カノ紫十歳計也男子デモ女子デモ幼少ナ者ヲワカ君()ト云此物語ソ◇(ノ)外記録類ニモ男女トモアル也源ヲウルハシイ人トヲサナ心ニ思也宮―紫ノ父也兵部卿ト云藤壺ノ女御ノ兄(アニ)也是モ宮ナレバウルハシケレドモソレヨリマサルト思也尼君被仰ハソウ思ハサラバーコレハ小兒ハカウ云事アル者也ウチ―兒(コ)心()ニモウレシク思也ヒキナ―紫ノ兒(コ)ドモ遊ニモ繪書ニモ源氏ノ君トコシラヘヒナニハヨイキヌキセ繪ニモヨイキヌキセル繪書(ガキ)イツキカシヅキ

弛走スル也君一源ハヲ帰ナサルイナヤ参内也瘡ニヨリ参内

(○同サウノフエハ笙也此楽器ハ天子ノ御芸能ニモ用ヒ玉フ例アリ名管モ亦数多シ江談并拾芥抄ニ出ス)

(○正像末(セウゾウマツ)ト云正像千年末法万年ト云也今ハ末法也天台ノ名目也他宗ニモ云カシラス)

(○私考曰キンハ琴也此楽器ハ中古以来断絶ノヨシ也但延長四年御記ニ常陸大*守親王箏ヲ彈シ中納言藤原ノ朝臣琴ヲ彈スト見エタリ云々)

【二九ウ】

セヌ物一語山ノ事モ語ル也病後故ヤツレルヲ天子見テユ、シイアブナヒト思召也聖ノ一委細ニシユセウノヨウス奏聞スル也アザリ一平生ノアザリト承ル七高山アサリニモナルベキ者也七高山ハヒエノイブキノ金(キン) 卍(ブ)センカツラキト云様也是ハ天下ニ靈驗アル僧エラミ天下五穀ブニヤウノ為七高山アサリニスレバ真威カウナ事也レイ徳エラミスル事故ソレ程ノアザリナレバ其七高山アサリニモナルベクアル卍(メ)レ也是天子ノ被仰詞也セ間ヘシラレズニナルト被仰也大殿一卍(内)裏ヘ左大臣ヲ出也アヒハ合也イキアハセテ也御一源ヘ対シテ迎ニクラ馬ヘモ行ント思也忍ビアルキ故エンリヨシテナン行ナンダトアマス也ノド一兩日テ前ヘキテ休息セヨ也ヤガテハソノマ、也直(スグ)ニ只今ヲ供セント也サシモ一源ノヲ心ニハ葵ノ方ヘユカント思又也葵上ヲ心ニス、マヌ故外ヘゴザリ処多故其様ニシモ思ネドモ大臣殿ノタツハイニ引カサレテ也我ハ左大臣殿ノ車也源ヲノセ自

(○私考曰ヒキナ遊ノ事説々多シ或上巳ノハラヒノ人形ニ起ルトイヒ或アマカツニ同トイヘリ江次第ニヨレハアマカツトヒキナハ別也大殿(オホトノ)

参ニ雛ヲモチヒ玉フハ正シク御身ノハラヒノヤウニ見エタリ但本朝上巳ノハラヒ未初ラサルサキニ崇神天皇ノ御宇ワラハメノ謳歌セル中ニ雛返トオホシキ句アリシカレハ少乙(ヲトメ)ノ時ヨリ天性夫ニシタカイ舅姑ニツカフルワサヲナシテ習ヒケルヤ云々)

(○七高山ドレモ勝劣ナキ也)

【三〇オ】

源チソウ故源ハサキヘスエワレハ引退ヲル也大臣ハカウセン者ナレドモ源ホンソウノムコ故也モテハ以ノ字也アハレハイタハシク思也葵ニハ心シマネドモササガニ大臣殿御心バヘ心グルシイ也殿(トノ)ニモ一葵上ノ方ニハサゾ源ヲ出ナラント也ヲ出ナサレントソウヂデモキツハリトシテアル也是モ隔句也殿ニモ一心ツカヒシ玉テイト玉ノ一也久シク一ヲアトヘツケテ見ル也女一葵上イツモノクセ也トミハトシニスミヤカニ也父大臣殿キビシウ早フ出ヨト云様也ヤウノトシテ出テゴザル也葵上ハ威高ウ心持テ中々モノデモ急ニ云ズジツトシテアルモノニ心ナヒ也タゞ繪ニジツトシテ動モセヌ也ミジロキハ身退也動ヌ也ウルハシウテハギツトゲウギ正シテアル也思一源ノヲ心ノウチニソウ思召也イハバシサイラシイカラ思事モセツノ云ヌ也山一此方ハナシスルカイアツテアチカラモ返答アリテ山路ドウカト云バソレデコソイトシフアラント也世ニハ一コレモソウ思也ヨニハキツウ也トカクウトノイ也

(○廿四丁ヲ世ヲ抄ニ助字トアリ如何曰世ニハ意無故助字ナレドモキツウ也)

【三〇ウ】

年ノ一ナジミ重ナル程猶也思ハスニハ思ノ外ニ思ハレルト心ソヘミル也思一

ハ思ヒノ外ニ思様ニナヒトソヘミル也時々ハコレカラ源ノ詞也折々ハ七間
ナミノノ夫婦ノ様ナルヲミタイ也堪ガタウ死ニソウナルヲ如何ト問又ハイ
ツモノ事ナレドモ平生ソウゴソエンナレドモ病氣ニ付テハ猶ウラメシイ也是
威勢クラベノ様也我大臣ノ女ト思ヒワレハ宮ト思ヒドチラモ折レヌ也トハヌ
ハ源ノ詞ニ◇(廿四丁ヲ)タヘカタウ如何トダニトヒタマハヌト云ヲ承
テトハヌハツライ者カラマヘモトヨリ親切ニサイノキテクレヌ故ニツライ
ト也引哥抄ニアル也其様ニモノ数云ガ恥シヒ也マレノ又源ノマレノハ
タマノ被仰ニモ被仰様アシイ也浅ハカナ事云也トハヌソレハマコトノ夫
婦ノ事ニ非スソレハ忍ビアルキニコソ左様ナ事云ベキ也夫婦ノアイサツニハ
ソフ云ヌ者也心ノ心ウク被仰事也ヨトトモニ夜トトモニタヘズ流テ行月ノ
如ク若思召直サンカセ間ノ夫婦ノ様ニナル事アランカトトニ付カクニ付思ニ
弥前ヨリ猶ウトンゼラルソウ也

【三二一】

ヨシヤマノヨ命ダニアラバ一タビハ和ニシテクレント也女君コレモ亦例ノ
シブノ也源ノゴザレト云テモゴザラヌ也ナマ心御シンナルモチト源モ御
気分アシカラント也ネフターワザトネムタイ様ニシテモノモ被仰ヌ也トカウ
一葵上ノナサレ様アシイヲ思藤壺ヤ紫上ノ事也クハカニカヘル也カノ◇
(紫ノ)成人ヲ思ヒユカシイ也ニゲナキアチニフソウ応ナト云ニツカハシ
フナヒト尼君思モ尤也アチノウケアシイ故ニ云ヨリニクイ也イカニドウシ
テヨカラソ也兵部卿ハ紫ノヲヤゴ也ハ貴人故貴ウモ見エナマハモノ和
ニ見エレドモ匂ノ風流ケナヒ也生付貴人故アテニモアリナマメイテモミエ
ドモ風流ニハナヒ也此女メゴハソノ一家藤壺ニハ似タゾ也ヒトゾウハ一ゾク
ノ心也覺ハ似タ事也ヒトツ兵部卿ト藤壺トハ同ジ后ノ同腹故ヲバゴニ紫上
似タカ也父ゴニハ似ズヲバゴニ似タカ也此キサイハ兵部卿ト藤壺トノ母ゴ也

ユカリ

【三一ウ】

是紫ノユカリ也カノミユノキミ也イカニシテトウジシテ取ヨセタク思也
又ノ日ヲ婦ナサレタ翌日也ヲ婦ハ三月末也卯(ウ)月ノ朔ナラン前ニ晦日
トアル也僧都ノ方ヘモ紫ノ事サゾ被仰ヤラレタナラン尼上ニモトヘハ
フミノブン也モテヨリツカレン様ナ御返答故ワレ恥シイ故私ノ心テイモエ
アラハシナリニシヲナン残ヲク存ズルトアマス也カバカリコレ程段々
申進ゼルモヲシナメテニ非スシンジツ也ウレシク思ハント也ナカニコレ抄
ニアル花鳥ノ説ヨイ堅ブミニ非也

○「面影ハ紫ノ面影也桜ニタトヘ婦テモハナレヌ也即紫也此方ノ心ヘハイ
ハ桜ノモトニ止(ト、メ)ヲケドモマダテマヘ迄ツキアルト也ヨノモノノ桜
ニタトヘ云故ヨノモノトフミニアルト也御手ソレハソノハヅデヨフテ也
ヨイハツ也タビチイソウ也サダーハ中央ノ央ノキミト云ソレデハ半故ソレ
ヨリコロスギタルト云也サカリスギタノキミ也万葉ノ哥ニコノサダスギテ後
恋シカモト云サ

○万葉ニサダヲ比ト書コロ也此バスギテモ後迄コヒシカラント也

○サダスギタルノ心如何曰是僧都尼君杯ノ目ニハ也若衆ハ沢山ニ思フ年ヨ
リハコンナ者也

【三二オ】

カリスギテ也此サタモ年バイノサカリノ比スギタノキミ也目ハ目ニ二文章
ナシテミユル也

《廿五丁ウ四月六日會》

△アナー

源ノ鞍馬ヨリ帰ル翌日ノフミガ面影ハ―也ソレヲ人々見ル也アナカタハラ―ハ大方キノ毒也紫ハ幼少ナリアチヨリクレヨトアル故ドウゴ返答申サントモテナヤム也尼君僧都少納言杯也ユクテノ―是カラ返答ノフミノ詞也ユクテハ序(ツイデ)也ツイデハクラマヘワラハヤミノ祈祷ニ行序也ソレハヲ序故此方ニモナヲザリニソ略ニモ思也フリハヘトハビングノウラ也ワザト也此様ニキツト立テワザトヲ使下サル也聞エ―テマヘカラ申上様ナヒ也御返答ノ被仰様ナヒ也マダ―面影―ト云◇(ヲ) 哥下サルレドモ御返答スル様ノ姫君ニ非スマダ◇(抄ニ引) 古今序ニアル様ニ手―今イロハ習様ニツブ／＼一(字)ヅ、書ナラハシタ也一字ヅ、今手習スル様ニ歌一首ヲエセヌ也ナニハ津アサカ山ノ哥ヲ父母ニシテ哥ノヨミ習(ナライ) ニモシタト

〈○ユクテノ訓如何曰シラス先ハ往也フリハヘモシラズ〉

【三二ウ】

聞エル故哥ノミヲヤニナルナニハ津浅香山ヲシラント云説アルソレニ非ス是ハ哥一首ツブ／＼書コトエセヌ也サンメレハアルメレバ也ヲ哥下サレテモ御返答エセヌ故其カイナヒ也サテハソレハソフアツテサテ也思ヒ出ス様ニ云様也モノ字ハナニ心ナヒ也淨() 瑠璃等ニサテモ其後ト云ハサテソウアツテ也モハヒヤウシアシイ故入レル也

○「嵐吹―面影ハ身ヲモ―ト云故嵐吹―也嵐吹ハ花ハチルハヅ也其嵐ノフク間チラヌハ少ノマ也風ヲ待テタル時チラヌソコニ心止ルハハカナイ也花ノ上一通デ云也紫ノ上ニカケ合ヌイツモノ返答也ト云ヲキイト、―ト云テ源ノカケ哥ノ詞ニ面影―コシガト一夜ノマノ風モウシロメタウト云文アル也桜モウシロメタウト又哥モ面影―夜ノマノ風モ―トアル文テイ故夜ノマノ風モウシロ

メタウトモ作セラル、ガ其上ガ此方ニモイトバウシロメタイ也幼チナ姫君也今カウ被仰テモ召ヨセラレテ幼チナレバ如何ト也僧

【三三オ】

都―前ニモ僧都ヘモ聞エ玉フトアルソレ故其返答モ只今デハエ返答申サント云也源ナサレ様ナヒ故口惜也二三日―是ハヨク日也ソレカラ二三日シテ也惟光クラマヘ遣サレ◇(タ也) 少―是カラ源ノ惟光ヘ云付也アンベシハアルベシ也尋テ―ソノ様スハ直ニ少納言ヘシリテモラウ様ニセヨトヲ心シリノコレ光故被仰聞也サモ―惟光ガ心テイニ思事也ドコ迄モノコス事ナヒ御好色也アレ程チヒサイ年ユカレヌ也我モミタ也マヨ―マズグニハナケレドモワレモ源ノヲ供シテノゾイタマツスグニ正面デミネトモ見ソコナハヌ也此ヲカシハイツモノハ面白也是ハ実ニヲカシイ也アノチヒサイ子ニカウ被仰ハトヲカシイ也ワザト―此様ニギツトワザト立テ被仰遣故ヲソレ入也少―サテ少納言ニ源被仰付迄ア内シテ対面也久シウ―今カラ云(イ、) 名付ノ様ニシテモライタイト被仰也オモホシ―ニツ也ヲ申ト又ノ玉フト也オホ方ノ―源ノ平生ノヲ身持カウドウト云也詞―惟光ハ能弁故源ノヲ、セノ上ニマダ

〈○廿六丁ウツキ／＼シウハヨリツキノアル様ニト云事也〉

【三三ウ】

ツキ／＼() シウ云也イト―ケレドモアチ方ニハイト―ハ今アゲテハナサレ様アルマイ也セン方ナヒ時分ト也イカニ―ドウシテ思召ヨリデクレト被仰ゾユ、―ガテンユカント云也タレモ／＼―尼公モ僧都モ少納言モ思也御―源カラ參ルヲフミノナカニモ也惟光ニモ被仰付又御文() 体ニモ委(クハシク) カク也カノ―ツブ／＼ノ一字書デモミタイ也ソレデモ直筆取レ也例―前

二面影―アル故エン書ニハチヒソウ也

○「浅香山―ナニハ津浅香山ノ哥ヲ手習フ人ノ始ニモシケルト古今ノ序ニア
ル故カケ哥ニマダナニハ津ヲダニハカノ、シウツバケハベラザンメレ
バトアル故浅香山ト出シ◇（抄ニ引）浅香山カゲサヘ―ト葛城（カヅラキ）
ノヲ、君ノソバデ采女（ウネメ）ヨム哥古今ノ序ニアルカゲサヘトアル是ハ
懸ハナルラント云也カゲト濁リウクベキカケトスミテ承ルナンボモアル
「エヤハイフキノサンモグサト此ルイ也
○「汲ソメテ―此クヤシト聞シトハ古哥ニスガツタ也抄ニクヤシクゾ―

（○兼道按廿五丁ウニ曰ナカニチイサクヒキ指テトアル故コ、ニ例ノ中ナル
ニハトカケリ）

（○廿七丁ヲカケハナルノカケハ今モ云事也カケハナシデト云也心ナヒ也但
上へ引カケレハ下タへ遠ノ心敷）

【三四オ】

ト云承テクヤシイト云哥アルソレヲ聞シ也ソノ山ノ井ノ水ハ汲初（ソメ）テ
ミテクヤシイトウケタマハル其クヤシイ水ノ浅ヲヲ目ニカケンカソレハナラ
ヌ見セマ●（セ）バ元ヨリ年ユカヌ子故御後悔ナラン御難義ナラント也コレ
光―哥同前ニナラヌト云也モトツテ同前ニ惟光モ云也此―又少納言口*上デ
ノ返答ハ尼君病氣故静（シツカ）ナ兄ゴノモトへ御養生ニゴザル御快氣ノ上
ニテ京ニテ御相談セント也京ノ―祖母君ノ御テイ主ノヤシキ也心―アマレニ
遠故源キ遠ソ思召也藤壺ノ宮―此比源ノクラ馬ヨリヲ帰ナサレテ也藤―ハ紫
ノ上ニハヲバ也源ノ夜トトモニ心痛ス藤壺也マ、ハソレ源ノ一生ノ物思コノ
藤壺也里へ送也ウヘノ―源ノ父ゴ桐壺ノヲ后惟今御テウアイ第一ノ藤壺故天
子覚束ナクナゲクヲ源ノ見ルモ御笑止ト思召ナガラモカ、ル―平生心ガケテ

アレドモドウモ對面ナラン故セメテ父ゴノヲナゲキハキノドクナレドモ此里
ラクニ御對面ナサレタイ也參内モナサレズ墓上へモゴサラズ藤壺ニ

【三四ウ】

逢ント手配マデナサル也參内ナサレテモ晝ハジツトシテアレドモクルレハ王
命婦ヲ頼テ也ナガメクラスハヒルハモノ思シテドウセンカカウセント云也王
命婦ハ藤壺ニツク女官ノ名也王ト云ハ王氏（、）也藤壺モ元ヨリ先帝ノヒ
メ宮ト云バヒメミヤ也王命婦モ王*氏ヲ出テ遠カラヌ也宮様方ノヲ子御奉公
スルヲ王命婦ト云也六孫王経基ノ王（ツネモトノヲ、キミ）カ子ミノ王ト下
（シモ）ニ王（ヲ、キミ）ト付ル人也王命婦ハ宮様ノ子ドモ衆御奉公スル也
此王命婦藤壺へモ源へモ御一家故相談シヤスイ也命婦ハ前ニモアル五位也ド
ウテ簡シタヤラ知略ヲ以タバカル也タバカルハダマス事ヲ俗ニイヘトモソフ
デナシ思慮スル事也伊勢ニモ右大将タバカリ玉テモコレ也セン方ナヒ処ヲ逢
セマス也ワリナクテ―源ノ逢也其ワリナフテヨン処ナヒ処デ王命婦働デヲ逢
ナサルモ是モウツ、トハ思召ズウツ、ハ現在也実デ逢トハ思ヌ也コノヤハス
テヤ也源モウツ、トハ思召ズユメノ様ニ思也宮モ―藤壺ノ也コレヨリ前ニ源
對面アル也源ハ

（○王命婦ハ親王ノ子ヤ孫ヲ庶（シヨ）王ト云コレ也直（シキ）ノ王ノ子ニ
王（ヲ、キミ）ト云ハナヒ者也三代四代也）

（○ヨトトモノヨハ也間ノヨナリ一生涯ノ思ナリ）

（○私考曰王命婦トハ女王ノ命婦ナルヲイヘリ命婦ノコトハ桐壺ノ卷ニシル
シヌ其女王ハ皇孫ノ未姓ヲタマハラサル人也タトヒ一世ノ皇女タリトモ内親
王ノ宣下ナキハ王名ヲ得玉ヘリ云々）

【三五才】

御幼少ヨリ心ガケアル也コノシハ前ニ逢事也ソレサヘモヒヨシナ道ニソムク事トヨトモノ◇(ヲ)モノ思也ソレドノヲアヤマチデヤマント藤壺ハ思也フカウフカウ覚シタルニ又此タビ王命婦ノ働デ逢故ニ也タルニト云間(アイダ)ニ大分心アル也今又コヨヒ此様ニヲ目ニカ、ルハ心ウクト間ニ大分心アル也イミシキキツウキノドクニ思召スゴウウス也ナツカシウ源モキノドクナト思召ゴウウスナレドモ御生付ナツカシウイトシラシイ様也女ノ習データン對面シテハ心ヤスク打乱レルキミアル者ナレドモ打トケアヘドモソフアレドモ心ハトケテアヘドモギツトシテ妄ガハシウナヒ也是藤壺ノ御ヨウスノ一タイノ人ガラ也ハツカシズントゲウギ正シテアレバ源ノ方カラ恥カシイ也猶人ニ外ノ人ニハ似タ処ナヒ御ヨウス也ナトカ源ノヲ心ニナゼニ此様ニナノメハ十分ニ足ラヌチツトタラン程ナ事アラバヨカラシトタラヌ処アレバソレヲワルイ処ミツケ忘ル、タネニセント思也泉式部ノ哥ニ「ソヨソノ事ト思ヒ出デ、忘ルバカリノウキフシモ哉ト云様也ソレ」
 (○泉式部ノ哥五文字失念ス出処モシラズ)

【三五ウ】

ソノ事ヲワルイ事ト思出テ忘ルタネニセント也アマレヨスギテツライ也ナニ夜短故ヲ詞モ残テナニ事ヲカ云尽シ玉ハン夜短故クラフノ山ニ也クラフハクラマ山ノ事也タバソラノコトニカケレバクラフト云物ニツナラベクラバニハクラブト云也夜短フ早フ夜明ル故クラフ山マツクラキ処ニヤドトラバ夜アケンモシラヌ故也アヤナガカレト思召ドモ必ソシナ大事ノ夜ハ早フアケル様也アヤニクハクヒ違也長シタク思ハ短也ネヤノヒマサヘツレナカリケリト云ハアケテクレト思ニアケヌ也ハソノウラ也中々ハ却テ逢ヌガマシジヤト云様也

○「見テモ又一惟今御對面スレドモアトシレヌ也此アトシレヌ故此ユメノ中ニヤガテハソノマ、シニタイ也トモ哉ハイツモノ願ノ哉藤壺ニ王命婦ノハカリコトデ逢ヘドモ源イヤニアラネドモスマヌ事スル故ケフカウ逢ント思ドモ源ノムセカヘラセ玉フヲミレバサスガニイトシイ也

(○三月ノ末四月故此時短ヨ也)

【三六才】

○「世カタリニ一是ハ下ノ句カラ聞事(ウタ)也ナド源ノ被仰様ニユメニ死シテシマハンガタグヒナク猶世ガタリニハ人傳ヘント下カラ段々聞バヨク聞フル也ユメニナシテモヨカタリニ人伝ヘント也オモホシト思ヒ乱モ御尤也キノドクガルモ道理ト也命婦一是モドコゾ命婦ガヘヤト云ニテセウ束スル弗(カラ)又女杯ニマギレハ人カラアトヨリ王命婦ナヲシモテクル也源ナドカリニモ直衣キデ白衣デ帰ル事ナヒナリナンゾニ化(バケ)狩衣デモキル也御殿ヘカヘレドモナキネニハネ(ニ)ナクト花鳥ニ遊サルソウデナヒ也啼テ寝(ネル)也御一イツモ藤壺ノ源カラ後朝ノフミクレドモスマヌ事ト思召故ニヲ心進ヌ故ミヌ也イツモミヌナレドモ也オモホシホレテハボケノトシテアル也内ヘモ一参内モセズアル也又◇(又)瘡後故ドウシタ事ト御テウ愛ノヲ子故帝ヲ心動モ源ノソラヲソロシク思也宮モ一藤壺モ御同前ニ心ウイ身ジヤト●●(思也)源モ天子ノ如何思召ト思ヒ藤壺モヒヨシナ事シタト思也元病氣デサガルニソレデ病マス也

【三六ウ】

トク一段々ニ早フ参内ナサル様ニ天子ヨリミ使シキレドモ中々藤壺ノ源氏ノ思ニ思ツモリ参内シニクヒ也実ニ殊外ノ御病氣加ハ源御密通ニテ懐胎(クハ

イタイ)也悪阻(ヲソ)ノ様也口(クチ)ワルク胸ワルイ事也イカナルド
ウシタ事ゾ懐妊デハナヒカト思也弥心ウイ也タゞサへ源ニ逢ガヒヨシナ事ト
思ニソレデ懐妊ナレバ弥ウイ也アツキ程ハ一ヲ下(サガリ)ハ四月五月六月
へモナル故ニアツキ程ハヲソニヨツテ也三月四月懐妊トミアツウナレバメス
物ウスウナリ腹大キフナル故ヲソバ衆ガテンユカヌト思也アサマシキ藤壺
ノヲ心方源ト密通デ不義ノ事デ此様ニナルハ合点ユカヌタ、コノインネント
思也人ハ一外ノ人ハ知ヌ也宮中ヲヲ出ナサレヌサキノ天子ノヲタネト思故ソ
レナレバ前カド奏聞セデ也二月ゴロカラモソフナラント思也コノ月一六月デ
三月(ミツキ)ナレトモ外ノ人ハ四月(ヨツキ)ト思也三月比カラト思也
我―源氏ト云説アル藤壺トモ云ドチラデモ也源ハ手前ノト思ヒ藤壺ハ是ハ源
ノ子ト思也

【三七〇】

〔廿九丁ウ 四月十一日會〕

△御湯殿―「」人ハ思ヒヨラヌ―藤壺ノ御病氣ニヨリ里ヲリシテアル時三
月ノ末カラ四月迄ノコト也源ノ王命婦カタライヒタト逢也源密會ニテ御懐妊
也懐妊ハ四月爰デコノ月ト云ハ六*月也前ニミツキニナリ玉へバトアル三
月(ミツキ)目也四*月カラ六*月迄三月也ヨノ人々ハ源氏密會トシラヌ也
三月サイ初カラ天子ノヲ子懐妊ト思故此節四月(ヨツキ)ト思故イカウノ
ビ〳〵ニ奏聞ナヒト●キモツブス也●●我―藤壺ノ心ニハ慥ニキツト源ノ
子ト思也此ニ源ノ事ト細流ニアルソフデハアルマイ也オクニ夢ヲ見テユメ合
シテヲドロ〳〵シウ合ス者アル◇(三十丁ウ)此宮ノ御コトキ、玉ヒテモシ
サルヤウモヤトオボシアハセタマフトアレバソノ夢ニツイテ源ノ若我子カト
知也ソレヨリ中ハシラヌ故是ハ藤壺ヨイ也御湯トノ一ヲ湯アミノ時分ニ参リ
ヲ洗ツ。フイタリスルニ王命婦其女メノ弁是ハ乳兄弟也親ウマイル也何事―經

行ヤヲ腹大(オ、キフ)ナル也

〔兼道按此細流説ハ藤壺ノ心ニ源氏ノ子ヲ心ヒトツニシルウオボス也源氏
ノ心ニ我子ト思ニ非ス師説恐ハ非ナリ〕

【三七ウ】

シルクハ著(イチジルキ)也弁ノ命婦ト云説旁(カタワラ)ニツクアシイ也
御メノトノ弁也一人也下ニカタミニイヒアハスベキニアラネバトアル也命婦
ハ王命婦也両方ヲカネナガラ合点ユカヌト思ドモ源ノ子ソフナト思ドモ親
子ノ事故皆知テアレドモ互ニ云合ストチラカラモ云ニクヒ也猶―源サマ〳〵
イヘドモイトウ也ソウイヘドモ過去ノ宿縁デカウ御懐妊ナサル也王命婦ヒヨ
ンナ事ト思也内―禁裏へ奏聞藤壺ヨリスルハ御病氣デ里ヲリハヲ物化也病
氣カラ御懐妊ヤラ知レヌ故奏聞延引(エンイン)スト云上ル様ニソフモンシ
タナラン也トミハ急ニ也皆―ソウノミ思ケル也ノミハ限ル詞也外ニ疑ナヒ故
也イト、―天子元御テフ愛ナルニクハイニント聞故イトゞ也ソラ―カミカラ
御ケツカウニナサル程也中将―源モヲドロク様ナユメミル也是ハ源ノ北ノ方
御懐妊ナサレソノ子天子ニナルト云様ナユメ也アハスル者ヲ―是迄藤壺ノ御
懐妊ヲノシノ子ト思ヌ也夢合(ユメアハセ)スル者ヨビ―ヲ子天子ニナラ
ント云様ナ事云也

〔廿九ウケンカシト云ハ地ノ詞ナルヤ曰然リソウモンシタデアラウ也〕

〔同ケシキナフハ如何曰コクハイタイノヨウスハナヒト云コト也〕

【三八オ】

ソノナカニ―ソノナカニ又宜ナヒ事アラン違メハ只今迄ノヲ身ノウヘト違ヲ

身ニ不吉ナ事アラント也ヲ怯ナサレデ叶ヌ事アラン也是須磨ノ左遷ノ事也抄

ニ抄ニ須磨ノ左遷ノ事ハアシイ也須磨ノ左遷ハ朧月夜ノ事ト云也朧月夜ハ面

(ヲモテ)ニシテ実ハ此藤壺ノ報(ムクヒ)也カウミルガ違メナリ煩一煩シ

クハヲ子天子ニナルト云故ニ煩フキノドク也ソレハ我事ニ非ス人ノ事問也此

一此ユメノ時節コン此事マナブハ此通云テ聞スガマネブ也心ノ中ニハ一源ノ

ヲ心ノ中ニハドウゾ藤壺ノ御懷妊我子カト思也此宮ノ一ドウカト思ウチ此藤

壺ノ事聞若我子カト思也ソレカラ我ヲ子ノコクハイニシテ思故イト、

一ヒトシヲ藤壺ヘ逢タイ也コンナ者ソウ也サマノ一詞作り被仰遣命婦モ一

源ノ命婦ニ段々被仰ドモイト一思ユイシテミレバ源ノ子故ヲソロシクアル也

ヲソロシイ事ムクツケウト云字ガ春(ハル)ノ字ノ下(シタ)ニ虫ニツ書雷

春鳴蟄(チツ)虫穴ヲ出ルト云事也

【三八ウ】

ソレヲムグメクトヨム土ヲモチアゲルガムクノスル故ムグメクト云也上

(ウヘ)カラミテハソロシイキミアシイ也ソレカラ出ル訓也ソロシクナ

ル故思慮メグラシテ源ニ逢ス事エセヌ也ハカナキマレノハ今迄ハ御返答

アルハカナキハザツトシタ一行(クダリ)ノ返事アル御懷妊カラ藤壺モウイ

事ト思故ニ其事ナシ七月一七*月也四*月カラ御懷妊ナレバ四月(ヨツキ)

也マイリ一ハ参内也七*月ニヤウノヲ阻ナドヤミ参内スル也メツラシウ一

三*月カラサガリ七*月ニ参内故イトヲシク限ナク御テウ愛也スコシ一ヲ腹

ハル也平生ヨリハ猶ヤハラカニヤセ御病テイノキミイトシラシイ也例ノ一レ

イ毎藤壺ノモトヘ天子ノオハシマス也コナタハ藤壺ノモトヘ也御一スバシク

ナル故面白ナル也ヲ相手ニ琴ヒケノ笛吹ノト召也イミジウ一源ノキツウ涙

ナドノテイ藤壺ニテモノ思ノテイヲ包也忍一ヲモノ思忍ビカクスニ涙ノ様ニ

モレ出也宮モ一藤壺モ其涙ノヨウス見源ノ子ゴクハイニンスルウイ事ト思ド

モサスガニ源ノ事

【三九オ】

イトヲシイ也カノ一是カラ紫上ノ事也尼君病氣快氣シテ出也京ノ殿(トノニ)

帰テト少納言云ソノ御殿ヘカヘル尼君ノ御処尋ネ時々源ノ方カラ状ヤ人ヲ遣

ス也同一同様ニ紫上事年ユカヌ故ト即云来也此月比一アチヨリクレヌハ尤ト

思内ニ此四月比ハ藤壺ノ懷妊ニヨリ藤壺ノ事專思アル也コトナル外ノ事ナシ

ニ藤壺ノ事ノミデ過行也秋一◇(二丁ウ)初二三月(ヤヨイ)ノツゴモリニ

トアルコ、ハ秋ノ末ト云ハ九月比二月移リヌ也時節ニツケ秋ニナリ弥モノ思

也月ノ一モノ思ハシヒ時分忍一是カラ外也六条京極ワタリトアル其月ノ面白

夜外ノ六条ワタリノ忍^ヒ処ヘカラウシテハソノキモナケレドモカラウシテ行

也忍^ヒ処ヘゴザル時雨一雨打ソ、ク也カク忍テゴザル処ハドコナレバ六条一

也寺町也内一キン中ヨリ六条ハ遠キ心チスル也此六条ハ御息処也ソノミチノ

程ノウチニアレタル一アレタル家ノ植木(ウヘキ)ノタチサマ古(フル)ウ

大木ナドアル也木シゲククラウ見エルガコクラウ也例ノ

【三九ウ】

一イツデモヲ供ニハナレヌ惟光也故一ハ尼君ノ出シ里ノ家ト云也故ハ死シタ

人ノ事也一日用事アリビンギアツテ尋タレバカノ一一日タヨリニ立ヨレバ彼

尼一一旦宜ナツテ侍ト前アレドモ老病故里ヘ帰リヲコル也ハ少納言惟光ヘ

云詞也前後忘却シテト源ヘ少納言云ト惟光申上也ソレハフビンナ事也ソウ云

事聞バ尋ンニナゼソウ云ハナンダゾ也内ヘハ入テ見マフトアン内セヨ也人一

光ガ下(シタ)ノ者入レアナイサス也入一コレハウソ也ワザトヲミマイナサ

ル様ニ云也入ハ門ノ中ヘハ入テワザト源ノヲ出ト云也ヲドロキテ◇(イト一)

皆内ノ人々(一)少納言初メキノドクナ事也コノ日比一此比ハ尼君ノ御病氣

頼モシウナクナル也ヲ逢ナサル事ナルマイナレドモスグニヲ帰ナサレト云ハ
ヲソレ多也南ノ一南ノ方ノエンガハヲ引ツクライ源ヲ入レ奉也イト一宜フナ
ヒ坐敷ナレドモカシコマリ一ハムサイ処ナレドモセメテヲソレ多ヲ礼ヲ申サ
ントテコレへ入レ奉ト残ス也少納言ナド云也ユクリナフ一ハシリヨ分別ナフ
惟今ハ取返アル故コンナモノフカヒ処へ入レ奉也ケニ一ゲニカウシタ処ハ源
ナドヲ出ノ処ニ非ズ強テムサイニハ非ス奥（オク）一深テ所*縁ニ非也

【四〇オ】

是スミニクイ也南ノヒサシヒキツクロヒテト云ハツイエンガハ也ユクリナウ
前後忘却シテコンナオクフカヒ処へ入ト云タ也是ナンデモスマヌ事也此オク
デ源ノゴザルヨウス尼君ノ口上云ガ◇（卅三丁ヲ）イトチカケレバ心ボソゲ
ナル御声タエ／＼聞エテトオクニアル是デ此スマス也南ノヒサシハヲ出ナサ
レガケノハシナ様ナレドモコレデユクリナウ一ハ平生ハ南向ガ家建ル法ナレ
ドモ此家南向ニ非ズ是ハ尼ノネルオクへ近也此ヒサシハオクノ方ニモ明（ア
カリ）トルヒサシアルハツ也ヒサシ煩ニナラヌ也此オクハ尼君ノ方へ近デ知
レタ也常ニ一常ニミマイタイト思ヒ立ナガラカヒナキ一ハ紫ノ事ナンボ云テ
モ御承引ナヒ故ニナント云デタビ／＼ヲ見舞モエ申サヌトアソコへ残（ノ
コス）也ソレ故エ見モサイ／＼セヌ故カクノ如クヲ病トモシラン也ミダリ心
チ一是カラ返答也尼君居間（イマ）ニネテイラレ源へノ返答ヲ少納言ニ云付
ルソレガ源ノ方へ聞エル也ミタリ心チ一ハイツト云事ナク気分アシイ也カギ
リ一今ハ限（カギリ）ニ病ツメル也今（イマ）シニギワニイト勿体ナクヲ出
也自一ジキニヲメニカ、リエ御返答申

【四〇ウ】

申サヌ也句也ノ玉ハスルコトハ紫ノ事也ヒタモノ給セラル、事也タマサカ一

避*近幸ニシテヲ心カハラズバ也カク一今紫上十歳バカリ也コノヨハイスキ
十六七歳ニモナラバ必ヲ心カハラズ人数（ヒトカズ）ニ思召下サレ也イミジ
ク一キツウヨウチナ人故心元ナク見タマイ置我ハシスル也願侍ルミチハ浄土
ノミチ也ソレニ引カレ思フ処へエユカヌガホダシ也ホダシハ罪（ザイ）人ノ
事也罪人ノ手ガセ足ガセトテエ動シ様ニアシダケ手ダケニ穴アケホタニツ打
ツケヲク也訓（クン）ハホタアシ也ホタヲアシニ付置也ソレカラナンギニナ
ル事ヲ子デモ妻デモノ事ジヤマニナル事云也ト云ハ少納言ナドニ云源へ云
（イ、）上ル詞也イト一源ノヲマシ処へ聞エル也尼君心細ゲナル声源ノソバ
へ聞エル也イト一是モ尼ノ云詞也私ハ病氣デエヲ目ニカ、ラヌコノ君ハ紫ダ
ニヲ出ノヲ礼ヲ申ス程ナラバ也アハレニ一コレモ源ノ近フ隔テ、聞也此ガ尼
君ノ詞ガイト辱（カタシケ）ナキ事ト云也願カヒ侍ルミチノ一聞エ玉ヘリト
アル是隔句也願カヒ侍ルミチノ一玉ヘリイト忝一◇（ト存ズル此君一）マシ
カバトノ玉フイト

【四一オ】

近ケレバ心一タエ／＼聞エテトユク也イト近ケレバ一中（ナカ）へ入レ文ユ
ルメル也此君ダニ一カハトノ玉フ近ケレバ一聞エテトユク也ソレヲ源ノアハ
レニ聞也コレ尋ラレ尼君ノ少納言ニ云付ヲ聞也ナニカ一浅フ存ズレバカ様ニ
スキ／＼シイサマヲ三月以来云ハシ深切ニ思故トコ、モアマス也イカナル一
ドウシタ宿縁カラミ奉ルヨリ紫ノ事イトシク思モカ点ユカヌ様ニ我モ思也コ
ノ世ノ一此世ノ事ノミナラズ宿縁ト思也宿縁ナレバ現在未来ニモカ、ル也カ
ヒナキ一是程思ライツ迄モ同ヘンノ返事ナレバカヒナキ心チノミスル也カノ
一人ジテノ御返答ナレバカヒナイ也カノイハケナフアル紫ノ直ノ口*上承タ
イ也ソレテコイ也イカデカ承タイトアマス也イデヤ一チサイ子故ナンラソソ
ソウアランカト少納言ナド逢セトムナ也（イ）也ネ入テアルトソフ云処へ紫

バタ／＼トクル也小兒ノ事故客アルモカモハヌ也上コソ一上トハ尼君キカム
キミ也コノコソモ右近コソトアルソレト

【四一ウ】

同コト也キカムキミ也コノハクラ馬ヲ指也鞍馬デヲ目ニカ、ル源氏ゴサル也
ナゼニ見サセラレヌト云也少納言杯ネタトウソ云故キノドク也ア、ナアカシ
マシイダマレト云也イサ、イサ、ハインニヤト云様也尼君平生被仰ハ源ヲ見レ
バ心チヨシト平生被仰デハナヒカ也ノ玉ヒシ、シヤベリノ如ク云ゾカシトア
マス也此事云テ聞ス我カシコイ故ト思也源チト笑ウソアラハル、ト思故何レ
モ難義ノテイ故聞ヌテイニシテ実ノ病氣ノミマイ云テカヘル也ゲニモ云カイ
モナヒ幼少ナヨウス也ソウアラウトモ人トナシテ妻ニセント也又ノ日モ一ヨ
ク日モ念比ニトムラウ也例ノ一マヘモチヒソウトアル也

○「イハケナキ一チヒサイツルハ紫ヲタトヘ云也一声聞シヨリキノウ聞當坐
(ザ)ニハ聞ヌ様ニアレドモ此哥デハアラハシテアハレアシマノナカニアル
船ハアチラヘサハリコチラヘサハリユカレヌ也紫ノ一声聞モドラント思ドモ
モドリカネル也エナラヌハ自由ニナラン也芦(アシ)マガル故也同シ人一是
ハ古今ノ

（○句エナラヌハ違ヤ曰エハ得也スルコトナラヌ也不自由モ同コトナリ）

【四二オ】

◇（抄二引）ホリ江コグート云哥ノ詞也同ジ人ニイツ迄モコヒシテアルト云
コト也コトサラ一ワザト紫へ進ゼラルフミ故ニツブ、書ニシテ進ゼラルソ
レ猶ヨイ也スグニコレヲ手本ニシテ習ヘト少納言杯云也少一ト下(シモ)ヘツ
ク也少納言御返答申ス其◇（ゴ）返答下(シモ)ヘ書也トハセ玉フ一其問セ

玉フ尼君ハ也今日モ心元ナヒ重イ病氣也山寺デ心静ニ御養生シ若(モシ)モ
ノ事アツテモ也程ニテト句切也アハタ、シイ故エ御返答申サントアマス也カ
ウ一カクノ如クトハセ玉フ此礼ハ若相果テモ未来カラデモ御返答申ト是モ尼
君ニカワリ少納言云也アハレナ返事也イト一コレハ源ノ詞也秋ノ一是ハ◇
(恋ノ一)古今ニイツトテモ恋シカラスハアラネドモ秋ノ夕ハアヤシカリケ
リソノ哥ノ詞デコノ詞入レアヤシイ程別シテ恋シヒ也ソノ詞コレ尋ル是ハ藤
壺ノ事也アナカチナル一セメテユカリヲト思故メイゴノ紫事也消ン一是ハ尼
君ノヲク拉斯露ソ消ソラナキ

【四二ウ】

ト前ヨムヲ源ノカキゴシニキク也コヒシクハ紫事也ソレヲ思召出サレコヒシ
クモアリ若手ニ取リアラバ紫ミヲトリセンカトサスガニ危也
○「手ニ取テ一草故ツム也イツ我手ニ入レンゾ紫ノネニカヨウデアナガチノ
ユカリ也◇（抄二引）紫ノ一本故ニ一ト古今ニアリ紫一本故ニ紫ヒトモトア
ル故野中(ノナカ)ミナ哀ニ思也ミナガラハミナガラ也ソノ紫ユヘジヤト
云キミ故紫ノ草トハ紫ノ根デソメル者故ソノ一類ノ若草ヲイツツミ我手ニ入
レンゾ也カヨウハ通シテ同行ジヤト云事也

《卅五丁ヲ 四月十六會》

△十月ニ一「一」前ニ◇（卅一丁ヲ）秋ノ末ツカタイトモノ心ボソクテトア
ル九月ノ十日此ニ紫ノ祖母君ノ方ヘ源ノ尋タニ尼君病ヲモル故◇（卅四丁ウ）
山寺ニマカリワタル程ニテト云也ソコヲスゴシテ十月ニ朱雀院一也是モ九月
ノ末ト見ユ此朱雀(スサク)院ハ源氏ニモ朱雀院冷泉院ニ候アルコ、デ云ス
サク院ハソレニ非ズ延喜ニ比スル処ノ桐壺●御在世(セ)也上代ハ仙洞杯事
ヲ朱雀院

（○入楚ニ云イツレカハイツカト也シハヤスノ字也）

【四三才】

ト云其子細ハ三条朱雀（シヤカ）ノ西ニ四町四方ニシテ天子ノ御隠居コヽニアル也其処朱雀故仙洞事ヲ朱雀院ト云也◇（第九キ旅ノ哥也）古今ニモ菅セウノ（）ノヲ哥ニ朱雀（スサク）院ノナラニオハシマシケル時ニ手向山ニテヨメルトアル「此タビハ又サモトリアヘズ手向山ノ哥也是モ延喜ノ親ゴニ比シタ者也此朱雀院ノ行幸ハ朝觀（テウキン）ノ行（）幸（）トテ天子モ親ゴヘ朝觀アル其事也是モソノ事也サキデ舞樂スル為舞人（）ハ極タ樂（）人也其外ウルハシイ羽林名家ノ類モ出テ樂スル也大臣ケモアル也公卿殿上人モエリ出サレソノ道ニツキノシハ付ノアル様ニシ覺タ人ハ皆エラミ出サル也スレハ親王方モアルミコト云是也初テト云ハ其下ニ公卿殿上人モアル云殘也ザヘハ樂ノ才也藝古●下（シタ）ナラシスル也イトマナヒ也皆イソガシイ也源モ是カラヲ事多也山里人―是カラクラ馬ノ二下目ニ行辺アル通口モエセヌ也フリハヘ―フリハヘ前モアルワザトノコト也遣ガフミ

（○兼道按古今ハ延喜ノ時也其親ゴハ寛平法皇也宇多ノ天皇ノ院ニナラセラレタル也コレヲ朱雀院ト云也）

（○私考曰朱雀院ハ代ノ仙居也紅葉賀ノ卷ニモシルスベシ拾芥抄ニ朱雀院累代ノ後院也云々）

【四三ウ】

ノコト也僧都―ナゼナレバ尼ハ死シタ也時ニ返事ニタチヌル―是ハ十月ニヤルトト見ユタチヌル月ハ先月也九月ノ廿日比ニ死スル也セ間ノ道理トハ思ヒナセドモ悲下基（ト云）僧都ノ返り也セ間ノ道理ト云ハカタイ也僧都ノ返事故

ワザト堅（カタフ）書也世中ノ―セ間ノヲシナメテノ無備（常）モ也哀レニハセ間ノヲシナメテノ無常モ哀也又一ツニハ尼死シテアレバウシロー人モトハ紫也イカナラントハソレハドウシテ紫ハヨルゾ也幼少ナルニ祖母君力ニシテアルニ心ボソカラント也故御息処―ヲヌシノ母御息処桐壺ノ更衣也マダ三歳故知ネドモソノ事思ヒ出也アサカラス―同様ニ母ニハナルト云テヤル也少納言―タレ返答セン者ナヒ也僧都ハ一通少納言クハシウ云也ユヘアツテ宜云也イミナト―ソレカラ程ヘテ祖母君ノ忌ハ廿日也ソレスギ京ノ―祖母君ノ家也ソレカラ程ヘダテ静ナ夜行也イト―イトスゴウアレタ祖母君死ナレテ忌中故アレタ也イカニ―自（ヲ）ケナイ静ニヒツソリトシテアル故ヲソロシイ也例―前ニオクフカキ

【四四才】

ヲマシ也ト云前入レタ処也少納言―ソコデ少納言尼君ノ病中死シタ事モ云也アヒナフ―ハ不ソウ忠也アヒハ合ノ字ノキミ也源ノ強テ悲ム相手デナケレドモ少納言ノ物語デ當坐ノ落涙也宮ニ―少納言ガ物語也宮ハ紫ノ父兵部卿也ヲヤゴヘワタサント云コ姫君ノ―即紫ノ母君也宮ノツレ合ナレドモ宮ニハ本妻アルコレニハ紫ハマ、シイ也紫ノ母君イトナサケナクウキ者ニ思召ツレナヒ也イトムゲニ―紫上ハイトムゲニチゴニ非ズ十歳バカリ也三歳五歳ト云ニ非ス十歳ニナレバ大ガイ人ノ機嫌ノヨイアシイマ、母ノキゲンドウト知（シレ）ドモマダ―紫上ハ人トナリヲソイ也人ノオモムケハアチラカラヲモムキテクル也小兒ナレバアチノ顔（カホ）ムケシラテ云モヨケレドモ紫ハ十歳ノ年ユケドモ心ヲトナシウナヒ故アシイ也チゴナレバアチニ見ユルシアル◇（ヘ）キニソウナヒ也アマターハ兵部卿ノ宮ノ子アマタル也三人ハ見ユ一人ハ藤壺ウム天子ノヲ后ニナル一人ハ髭黒（ヒゲグロ）ノ大臣乱心シタ人也其室也コレト此紫ノ上ト三人ホカ見ヌ也

【四四ウ】

女御一人見ユ四人也皆姫宮也男ノコトハコレヘカゾヘナヒ也其中デ三人ハ本妻腹也コチハマ、子デ一人也アナヅラル、道理アル也スギ―死ナレタ尼君モアチヘカツテハマ、母方テハアナヅラント尼君モソウ思也ヨトトモニナゲク也シルキ―イチジルク尼君ノ姫君思召通マ、母ノシカケアシイ也カク―左様ニマ、母ノシムケアシイニナゲハ源ノ被仰入ハチトバカリ紫ヲ思召ナサケガナゲハナゲヤリ也チトバカリ思召ナラン後々ヲ心カハル心カハラヌハシツカリト見トゞケヌ也中々後ノヲ心ノカハルカハラヌヲ見届ルバニ非ス急ナ事也今ハ進ゼタイ也介保スル尼ハ死シアチヘヤレバマ、母ヘ渡ス也アゲタイ時分ナレドモスコシ―チツトナクトモ相応ニ御夫婦ト云様ナラバ也◇(御)トシヨリモ―年ヨリマダイトケナウミエル也イト―ソレ上ルモキノ毒也ナニカ―ナゼニ也段々申入レルナゼニ遠慮スルナニカ包玉ラント隔句ノ様也ソノ―ソノイトワカビテ十歳トハ見エヌガ別シテ哀ニ思也契―是ハ宿セノ因縁ナラント思也人―□□バソレトモニ也幼少ナガラ也何分對面セン逢セヨ也

(○)ヨトトモノヨハ夜(ヨル)ト云ハ如何曰世(ヨ)也ゼウジウ也夜トトモハ夜モスガラ也コ、ハ世ナリ)

【四五オ】

○「芦若ノ―此アシワカノ浦ヲ一説ニハタゞ若ノ浦◇(ノコト)ヲアシデカケル故芦ノ若イ浦ト云事也芦若ノ浦故ミルトウケル見(ミル)事ハナリニクイナランガ是ハタチナガラカヘル波カハ我ハ立ナガラカヘリニクイナラント也ハ師(師)説ハワカノ浦ニ云カケヌ知(シレ)ヌシウチン未勘国(ミカンコク)ニ木(イレ)アル歌枕ナトソレ也師説ハミルメハ塩海ニナシ湖

(ミヅウミ)也何分近江ナラン近江ニ芦浦ト云処アル芦浦ノ観音アル也其芦浦ナラント也幸ニ哥ガミルメナレバ何分近江ジヤト云ハレタ也芦ワカノ浦ニミルメハアルマイソレハソチカラ逢セヌハミルメナヒウラナルガ是ハ立ナガラ逢ズハカヘルマイ也メザマシ―對面サセスハ手前ナレトモスマヌト云也メザマシハフケウナキミ也目スサマシイ也ケニ―少納言ガ御尤ナ事也○「ヨル波ノ―ヨル波源ニシテ源ノヲ心ノシレヌ行末トグルヤラ知レヌ也返哥デミレバ和歌浦ト云ハ紀ノ国トモ見エル也ヨル波ハヨセテクル

【四五ウ】

故自然ニ玉藻(タマモ)ナビカネバナラヌ也スレドモヲ心シレヌ其心ニヨルハ浮タコトジヤト也ワリナキコトト―幼少ナ事ナレバヲ逢ナサレントハ迷惑ナリ致様ナヒト云也少納言ガ云ヨウヨイ也少シ―逢スマイトイヘドモ云様ヨイト云キミ也ナゾ―古哥也一タビヲ目ニカ、ラウ也紫ニ付テアル若キ女中身ニシミテ源ノ事思也君ハ―紫ハ祖母君ノ事思召シタ也ミ遊―遊ヒ相手也コドモメノワラハドモ也ノウシ―是ラガ紫ヘ云ハ直衣キタ人見エルサテハ父宮ゴヲ出ソウナト告(ツグル)也オキ―前ニナキフシ玉ヘリトアル故オキ出テ也少納言―オクヨリズカ、キテ直衣キルハドレトレゾ父ゴノヲ出力也ヨリ―少納言ヨ直衣―ト云声也宮ニハ―源ノヲ詞ニ宮ニハ非ドモ各別ニ思召ハナス者ニ非トコレモ源ノシコナシコフ也我(ワガ)モノニモセント云詞也コチト―前アルツイキタリトアルコチヘト云也紫恥シイエリヨアル人ト思ヒヨシナ

(○)卅七ヲ哥浦ニ玉ノナビクトツ、ク如何曰タマモカルト云モノ事也玉ハ称美ノ詞也序デ云玉藻ト云也ソウハモナリ水ハ流故ニナミニナビク也ナビクハ弄ブキミ也ホドハホドテイ也ウキタルハ落ツカヌ事也)

【四六才】

処へ来タト思也メノト―少ナ言ノ方ヘヨル也イテネント云也今―一タビ出テ今サラ引込ントハ也テ前ノヒザノ上(ウヘ)ニネヨ也今―モチツトヨレト也メノト―少納言ガサレバコソ也セ間ノ事ヲフアン内ニアイサツルススベモシラン程ニテナン氣ノ毒ナト也源ノ方ヘツキヤル也ナニ心モ―是ヲヲサナイテイ也手ヲサシ―是ハ平生キヌト云モノキル其^{*}上ニカイドリノ様ニ或ウヘノキヌ或貴人ノカウシタヒメ君ハホソナガト云者キルカイ取ノ様也手ヲ―ハカイ取ノ下(シタ)ヘ手入レルソノ下(シタ)ハナヨノトシテ衣ニカミツヤノト間ヘスベラカシノカミキコメラレテアル也未―未フツサリトシテテサグリミルウツクシソウ也見ヌ事故也手サグリ故也ジツト源ノ紫ノ手ヲトラヘレハ◇(ウタテ)紫ノ心ニキノドク也(イ生親フ出合(デアハヌ)人也イヤサニヲレガ寝(ネ)ヨウト云者ヲトテ少ナ言マ、ニシテハ入也コツソリトネルキミ也源ハソレニ付テ行也今ハ―

○ホソ長ハ細長ト書也セウ束ノ上ニキル者也姫君ニ限ラズ大人モキルナリ細イ長者也凶(ツ)アリ細イ長者也ハバセマイ長者也

○ツヤノ如何日ツラノ也俗ニ云ツクノ也通ハセネトモツヤノツラノツクノ皆同者也ヤトラハ通也兼道按此釈ハ此処ノツヤノトハ違歟

○卅ハヲスベリハニジレハスベルナリニジルキミ也

【四六ウ】

今ハ我コソコナタヲ思フ人也尼◇ナフナル故外ニナヒゾ也ナ我ヲウトミソフ思ナ也メノト―少納言ガ源ノツイテ行故イデハ発語ナリアナハアノナア也キノドクト幼少ナレバ聞エ―ナニヲ云シラシテモナニキ、ワケル様ナ事ニ非也

苦ケニ―源ノ紫ノネ処ヘツイテ行故苦也サリトモ―ソノ方ナドキノドクガル

ソフアリトモカ、ル―御幼少ナ子ヲドウセウニ也ナヲ―コノ上ナガラセ間ニハカウシタタグイアル事人ハシルマイ世ニシラレ志フカヒヲ見ヨワルクハセソゾ也アラレ―其夜シモアラレフリ―ドウシタ人ズクナニスグサント源ノナク也イト―ドウモステラレヌカハラレヌ夜ノサマ也ミ格子―トマル程ニ也マイリネハヲロセ也コヨヒハモノスゴイ也我トノキセン人々(ヒトノ)近フコレヘヨリイト―イヨノ几帳ノカゲヘ紫ヲカキイダキ入ルアヤシク紫ノ女中思ノ外ナ事ナサルト皆キノドクト思也メノトハ―少納言ハナントナサル

○卅八丁ヲ左ノ折目湖月抄ニ思ひたてきハトアリ一ノ夕ハ桁字歟曰然ラン湖月ニ此様ノ誤多コト也

○ミ格子マイリネハマイリテヲロセノ意カ曰ネハ下知也イキネノルイ也マイルハ貴人ヘ指上ゲルキミ也アゲマセ也格子サイテアゲマセノキミ也

【四七才】

コトヤラ心モトナイ也アラマシウ―荒ノシウソレハナニヲナサルト云ヲ相手デナヒ故嘆息シテヒヨシナ事ト思也我君ハ―紫ハコレハナニヲトフルウ也ウツクシイ紫ノハダヘ也烏毛立様ニ恐シイ也知ヌ人来テネル故源ノヲ心ニソレデ猶イトシラシイ也ヒトヘ―ハ先下(シタ)ニ肌付(ハタツケ)ト云ヲキル其上ニヒトヘノキヌバカリキル也ソレニ引ツ、ミテ我ノシノ心ニモ是ハワケモナヒ幼少ナ子ヲト思也哀―源ノ哀ニカタラウ也イサ―イデ玉ヘヨ也テ前ヘゴザレハヨイ繪多也ヒキナ遊スル処ニイサ玉ヘヨトカヘル也紫ノ心ニ叶事致処ニイザ玉ヘヨ也心―紫ノ心ニツクベイ事云也モノ和ニミヘルヲオサナキ―源ノモノ和ニ被仰故ニ紫ヲジヌ也サスカニ―サスガニ肌(ハダ)アイシラヌ人故ネモナラヌ也ミジロキ―アトヘ退也ミ退キ也夜―コヨヒアラレ吹風

フク故内ノ人思ハカクノ如クコヽニコザリクレズバイカニ

（○卅九ヲ抄ニスグニ肌ノキヌトアリ如何曰シバシキテモ下（シタ）ノハハダギト云也丸ハダカニハセヌ也コノ抄ヨイ也）

【四七ウ】

ドノ様ニコハイ心細カラン同ノ同事ナラバ紫ガ源トコヨヒ夫婦ヲカタライナサル様ナラバ也此宜キ程トハ源ト配偶至極ノ時分ナラント云ニ非ズ宜程ハ十分ナラヌ事故カナリガケナラバト云様也少納言ハソレトモ心モトナヒ也風ソコデ風モ少止故マダアケハナレヌ二出也夜フカウヲ出ナサルハ何ゾ実（ジツ）義アル様也コノヤハステヤ也イトノ源ノ少納言ヘ被仰詞也イトイタハシク思君紫ノヨウス也コヨヒ此様ニトギスレバコレカラハ猶也アケクレノ我アケクレモノ思シテナガメクラス処ヘツレユカン也ナガメハモノ思也カクテノミハカクノ如クノミハ人少ナデハヨラレマイト云残（ノコ）ス也サテノヨウゴザルト也宮ノ兵部卿モヨムカヒニヨコサント云也コノソフアレドモセメテ此中陰スギテ宮ノ方ヘヤラント思也頼モシキノ父ゴヘヤルハ頼モシイ也ヨソノ今迄他処ニ隔テアルヲ手前モアマレ

【四八オ】

カハルコトアルマイ也父ゴモ隔アレバ我方モ同事ナラン源ノ下地カラナラシアレドモコヨヒ初テミル也我ハ今日カラ初テミレドモ志ハ父宮ヨリマサランコノマサルハ父ゴニマサル也是モ隔句也頼モシキノナラヒ玉ヘルハアサカラヌ心ザシハ此方マサルナラント也紫ノ上ヲサスリテ也イミシウノ暁ノテイ也ヨウスタバナラヌハケ色面白キミ也霜ハ十月ノ事故霜ヲク也マコトノジツニ心ヲカハス同土ノケソウシテヲ帰リナラバ面白カラント也コヨヒノヲ帰

ハナンノ風流ナ事ナヒ也サビシイ也イトノ是カラ外ノ事也平生イト忍デ通処道ニアルナリカドノソノカドヲタカセドモ暁近ナル故皆ネシヅマリ聞ツケル人ナヒ也カイナクテノ扣テモアケヌ故源ノヲ供ノヨイ声ノ人ヲシテ歌ス也コレ風流也扣テエキカヌヲ歌ス也猶キコエン也文ノツヤニカク也
○「朝ホラケノ朝ホガラカニ明ル霧ノ間也其霧ノ迷ニツ

（○四十ヲマコトノケサウモノモハ如何曰セウニ実事ノアルデモ面白カルベキ也紫ハ小兒ナレトモ面白也実事アツタラハ猶面白カラントケソウハ心ヲカケルデ本ノ好色モト云事也）

【四八ウ】

ケテモ●遇◇（通）ニクイ也イモハ女ホ也二通ウタウ也ヨシバミノヨウスヨイ下女ヲ内ヨリ出ス也抄ニ引催馬楽ニ妹カ門ト云サイバラノ哥也ヤドリテマカラン也

○「タチトマリノ立止テ霧ト云者ニサハツテスキニクイト云カケ哥故ソレナラバヨリナサレ草ノソレサハリニナルマイ也此トザシハ本ノ戸ニ非ス草ガ戸ノ様ニハヘル◇（ヲ）ト、云也ト、云マガギト云ジハ助字（ジ）也サハリモセマイ也コノ哥ヨミ捨テ、入ルモウ人モ出ネバソコカヘルハナサケナヒ様也平生通ル処故也ソフスル中ニハ夜アケル故也此一段ナフテモ大事ナケレドモ紫一夜（ヤ）ゴトウ留ナサレテモナンノ色メク事ナヒ故コ、ヘ入レテ風流モタスアトヘ引ツバキ紫ノ事云也コレ文ノカザリニナル故ハツヒノ句ト云也伊勢ノ布引ノ滝ノ事ニマカリシ道ニウセニシ宮内（クナイ）卿ミチヨシガート云コレラ文ノナライ也アヤナヒ事アヤドル也ハツヒハセウ束也キレバ飾ニナリナフ

(○半臂(ハツヒ) 八百人一首小町敷ドレヤラノセウ東ニ一処書テアリ袍ノ下ヨリ両方へ出タレル也ヒダ段々ニアル也)

【四九才】

テモクルシウナヒソレトヒトシイ句ユヘニハツヒノ句ト云也

△四十丁ウ 四月廿一日會

△オカシカリツル―カノ一夜紫ノ方ニヲトマリナサレヲ婦ナサレタ也ヲカシ―ハ紫也ヲカシハホメタ也宜カリツル人ノキミ也独―先悦レル様也見ヲトリモセンカト思ニ手ニ取ミレバ弥ウツクシイ故(イ故)タレニカタラン様ナク独エミシテアル也日―ユルリトネテフミヤリ―是モ後(コウ)朝ノフミノ心也一夜ヲトマリアサヤルフミナレバ也カクベキ―成人ノ人デマコトノ契レバ書様モアレドモ外ノ夫婦ノ様デナヒ故レイナラヌ也筆打―ドウカ、ント書カネルヨウス也ヲカシキ―面白エヤル也カシコ―カシコハ紫ノモトへ也ケウシモ―シモニカラアルタ(ユウベ)源ヲ止リケウニ限テ也年比―祖母君死故家アレタ様也忌アイタレドモ皆ナゲキノナカ故ソマヘヌ也ヒロウ―モノサビ古フナル也ミワタシ―コ、カシコ見テカ、ル―カウアレタヒロ、トノ人居ラヌ処ニハ

(○スサミ如何常ノスサミトハ心違ニ似タリ曰常ノスサミ也筆打ヲキ手スサミロスサミデモ外ノナクサミシテマギラシテアル也源氏ヲヒタト見レハコチノ氣ソウ大也ツキツメタ事ナヒ也私ノムネヒロフナル也)

【四九ウ】

也ナヲ―前ニモ引トラント云ニヒメギミナラヌト云祖母君モソレ故ナラヌ也ナニノ―幼少ナ故取ツクロフニ及ヌ也心ハ処セバイガモトナレドモ取ツクロ

ウニ及ヌ也メノトハ―少ナ言様ノメノトハ◇(部屋ヲ)各別ニシテテ前ノヤシキヘコイ也君ハ紫ヲ指也ワカキ―ハ兵部卿ノ宮ノ女メゴ持アル也ソレトトモニソ立ン也御兄弟故也イト―イトヨクアリツカント也モ、ハ上ヲ承云也近フ―ソバへ紫ヨビヨセル父宮也カノ―ユウベ源氏止リ一処ニネルソノ香(カ)也ヲカシノ―フシギニヨキ句ヤ也御―紫ノメヅ(シ)モノハ尼公死ナレタ故此様ニナヘタフルイモノキテカ也年比モ―此年比尼公ノセハニナル也アツシクハ病氣也サダスギハ比(コロ)スギル年ヨル老人也時々―カシコハヲノシノ処ニワタリミナラシ―ハ此ケイ母ヘモミナレテモライヲカシノキミ也アヤシウ―フシギニドウシタヤラ祖母君初メメノトモケイ母ノ方ウト、シク思也人モ

【五〇才】

―人ハ手前ノ妻モ也ソチカラウト、シクスル故妻モ心ヲク也カ、ル―尼公ノ死ナレ不自由ニナリテ前ヘクルハ也心―アチノ思モキノドク也ナニカハ―少ナ言云ハナニカハヲ出ナサレズトモクルシウアルマイ也ナニカハ、デ句切也シバシハコ、ニ居テヨカラン也少シ―少シチユ、シウナリテ渡テヨカランソフアレバケイ母ノヲ顔様ミテドウアイシライカウアイシラウトソコノツキヨカラン也ヨル―尼公ノ事コヒナカレル故ハカナキハザツトシタモノモ召上ラレヌ也ソレカラヲコリゲニハ尼君シタイナク故ゲニ也中々ハモノ思デヤセラレタカゲツクウツクシイ也是隔句也ゲニイトイタウオモヤセ玉ヘレド中々イトアテニウツクシク見エ玉フ也ナニカ―兵部卿ノ被仰ハナゼニソノ様ニハ祖母君ノ事フカウ思召ゾサシモハソウシモ也今ハ―死シタ人ノ事ハ思テカヘナヒ事也ヲノレ―ヲレガヲルナレバ己アレバ慥ニ思ヘナンタヨ

【五〇ウ】

リニ思へ也暮レハ―父宮ハ帰ル也サミシイ上ニ父ゴ帰ル故紫ナク也宮モ―又宮モ打ナキイトコノ様ニフカウ思ヒ入ル也フカウ思召スナン入ハフカウ也ケウアスノ中テ前へ引トランソウアレバサビシイ事ナヒ也ナトハソノ中ニ色ノ事云也ナレドノ間ニ大分心アマル也返―心ナグサメテ出ル也ナゴリモ―ナヲ以ナグサメ難ナゲク也ユク―ユクサキドウデアラント云迄ノタドリナヒ也年ユカヌ故也タバ―指當テ祖母君ノ別レ年比―尼君ニマツハシナラヒテ今ハ―ソレガツライ也オサナキ―幼少ナレドモ也例ノ様ニトビノトモ聞也ヒルハ―サテモハソウアツテモ也マギレル也夕暮ハサビシク心細者也クシハ屈(クツシ)也カクテハ―アノ様デハドウシテスゴサント少ナ言初メキ嫌取(トリ)カネル也君ノ―源ハタ(ユフ)ベヲカヘリナサレフミユク也コヨヒハ惟光トギニヤル也マイリ―ソコヘマイルベキヲ也クヘキハ惟光キテコレヘヲ出ナサルベキヲ也

【五一オ】

内ヨリ―ナン。キンリカラヲ召故エユカヌ也心―紫ヲ心苦フ源ノタベミルモ只今モ静ナ心ナフアンシテヲル也惟光ガ外ニヨルノトギノ人遣也アチキナウ―少ナ言独ゴト也サテノキノ毒ナ事也源ノナゲノヲナサケデモアラシタハムレデモアラシガソレ実ナレバ婚礼ノ初也源ニハ葵上ト云御本妻アル手カケノ様ニスベカランキノドク也宮ハ父宮也召遣ル、面々ガ様ナ守テノ愚ナルトサイ―サイナムハザイ也ツミナハル、ナラント(ト)也マヘモアル也アナカシコ―セイ通スルキミ也必父宮ノヲ出ナサレウトモ物ノ序アツテモ源ノ事ヲ父ゴヘ仰セラレナ也ソレヲハ―ソシナ事モ中々云テヨイヤラワルイヤラ知ヌ也ヲモウシテアラン也アサマシ―俗ニ云アサマシイニ非スヲ年ユカヌ故ソシナ事エ合点セヌハ只浅也アハノシイ深フナヒ事也ケレドモワルイツライ事

ニモイヘドモ本ノ訓ハアサイ也ヲ年ユカヌ故ハカナイ也少ナ言―コレカラ少ナ言惟光へ

〔○愚ナルニゾノコソ如何曰愚ナルニゾナサル、ナラント也サイナマレンハ呵(シカ)ラル、事也罪ノ字也ザイナマレンノ心也〕

【五一ウ】

對面シテ尼公シナンアトサビシキナト云也ア甘(リ)ヘテ―年月へ紫成人シタ後也ソウアルベイ御夫婦ニモナルシユクセノ縁アツテ思召通ニナルコトモアラシタ也タバ今―今ニシテハカケテハ詞ニカケテモ御夫婦ト云レヌ也ヤウノ十一歳カ也アヤシウ―ヲ年不相応ナルニソシナ事仰セラル、ハ也ガテンユカヌ様ニ源ノヲ心ニ思召彼定被仰ハ也アヤシウハ少ナ言ガ心也オボシ―ハ源ノ仰セラル、也イカナル―ドウシタ事ト了簡ツケラレヌ也カウトカタヨセラレヌ也ケウモ―ヤハリ光へ物語也ウシロ―ソ略ニスナ也心―父ノ仰也ブ調法ニスナ也紫上ヲ也イト―ソウ被仰モタバナレバナントモナケレドモ源ノアレコレ被仰故宮ノ被仰モ胸ニコタヘル也源ノヲ出デモカハル事ナケレドモヲ出故宮ソウ被仰ニ付テモイトワツラハシウ思也タバナル―ナニ事モヲ出ナサレンヨリカウシタ源ノヲスキ事故ナリ是モ顛倒也カ、ル御スキゴトモ思ヒ出ラレテタバナルヨリハワツラハシウ侍ツル也此人モ―

〔○心ヲサナク如何紫上へ心ヲサナクカ、ルヤ又侍人へカ、ルヤ曰モチアツカウ人ノ也愚ニ致スナ也ヲサナイハ幼少ノ事ナレドモヤハリコ、ラハウカノスナト云事ニ用也源氏ヌルビロイハコレ也〕

【五二オ】

ソウ少ナ言云テ少ナ言ガ心ニ光モ此様ニ此方キツウキノドクガレハ源ユウベ
止リ御幼少デモ夫婦ノ契アルカト思ハシカ也ア・イナケレバ、ソウウ成也イタ
ウーナンギナ様ニモ云ヌ也大夫モーコレモドウシタ事ト合点ユカヌ也マイリ
テー少ナ言云事ナド申上也アハレー源ノヲ心ニサビシイヨウスキ、哀ニ思召
也サテーソウアツテ今夜モヲ出ナサレンモサスガニ紫アイスレドモ立反ソ
ウジヤトイヘドモ年ユカヌ人ノ処ヘ思ヒヨラン様ニ思ハン也ス、ロハ不^{*}意
也貴人ノミユヘ不審センカ也カル／＼モテハ以ノ字也助字也自由ソフニ
思ベキ也タバーイツソ一向ニ迎トラント思故イツソ先ユカヌ也光カヘリ又フ
ミ遣也クルレハー又コヨヒモアスノ晩モ也サハルクルレバ毎晩ノキミ也
サハルー又コヨヒ遣サレテ参リタケレドモ故障アツテ也愚ー愚ニヤ思召サン
ナント、云文(フミ)也宮ー少ナ言ガ光ニ逢テ宮ー父宮カラアスニハカニ迎
ニクル故心アハタ、シイ也

【五二ウ】

ナンデ句ヲ切テソレ故御返答モシカ／＼セヌ也年比ノソレカラヲコリ年比
爰元ニナル蓬生ー宜ナヒ家ナレドモ也居ナジム◇(処)故サスガニ也ツキ
／＼()ノ者モ心細ク思也トトハト、ナニヤカヤ云也オサ／＼中々取合
ヌ也イソガシイ故也モノデモヌウテアル也マイリヌハ光源ノモトヘマイル也
其時ハ源ハ葵ノモトニヲ出也例ノーイツモノ通葵上サツソクニ對面セズヲモ
／＼シイ也モノー源ノドンナト思召也アツマヲーアツマハ和ゴン也コレハン
フナレドモ和琴ノ名アツマトイヘドモ此(コ、)ハアツマシラベトテアツマ
歌ト云様也各別ニアツマシラベト云アルソレヲ和琴デヲヒキナサル也ヒタチ
ニハーサイバラノ歌也「ヒタチニハ(抄二引)ート云コト也強テソノ歌ニカ
ハル事ナヒ也田ヲツクレト云ハコ、ヘハ取合ヌ様ナ事ナレドモ是ハ末ツムノ

事也コレヨリ前ニ末ツム出ヌ也是ハ源十七歳也十七歳ヨリ末ツムヘゴザルコ
ノ紫ヲ迎モ十月霜月故此時ニ末ツムヘ通時故コ、デフト思ヒ出ス也葵ノモト
デフト出ヌ

【五三オ】

故葵上ハウズ高ク又末ツムノ事モ心ニ叶ヌ故フト思ヒ出シテカウ歌ウ也声ハ
ー此事ハ源中最秘抄ニ委ク書アル也光ソバヘ召ヨセ何(ナニ)ト、アチノヨ
ウス間也シカ／＼宮ノモトヨリアス迎ニクルトテ中々相手ニナラヌ何ヤカ
ヤ拵シテアルト也口惜ーアチヘヤルハ残念ナト思召也カノー源ノ思召ハ父ノ
方ヘ行バワザト所望スルモスキ／＼シカラン也ヲサナキ人ームリニツレテコ
バセ間ノ人モドカン也オヒナレハソレヲオハン也其先ニー父ゴノ方カラ迎ニ
コヌ先ニ也テ前ヘ取ラン也暁ー光ヘ被仰詞也暁アチヘ行ント也車ーコレガ源
ノ六条ノ御処カラ此葵ノモトヘヲ出ノ◇(ヲ)車也サウゾクハヤハリ車ノカ
ザリソノマ、ヲケ也サナガラハ前ノソウナガラ也スイ人ーツレテ行ズイ人一
人二人誼(ヲキテ)ヲ云テヲ、セツケテヲケ也光承リ起(タツ)也君ハー源
ノイカニセン也聞ーツレテムリニバイトリコバセ間ヘ聞エスキーコレ一ツ人
ノー

【五三ウ】

今十六七ニモナル人デ女モヲ心ニ從ント云バ女承知センモソウセ間ヨリハ思
ハン也父宮ノードコヘツレテ行ゾト尋出時ニ源ノ方ヘヲ出トシルモフツ合ナ
者ジヤ也ス、ロハニアハヌ不意ナ事也覺シーサマ／＼思召也サテーサウジヤ
ト云テモ取ハツシテハ残念ナラン也マダーマダ夜フカウニ葵ノモトハ未明ニ
出テアチヘ行也女ーイツモノ如ク打トケタ體(タテイ)ミヘヌ也カシコニ
ー紫方ヘ行トハ被仰ヌ也カシコハ俗ニ云アソコ也セチニハキツウ也今吃(キ

ツ)ト思出故ニ也立一ヲツ付イテコント也サフラフ一夜フカウ出テ行故葵ノ御(ミ)内ノ人モ知ヌ也我一葵上ノ御(ヲ)ヤシキデ源ノヲヘヤ也ノウシモサツハリトシテヲ召カヘナサレ行也コレミツ一件ノスイ身一人二人也門一源ノドウシタ事デヲ出トシラヌ者アケタ也源ノヲ車門内へ入レヤヲハ和也ソロリト也大夫一少ナ言居ルツマドヲ打タ、キコハヅクロウ也少ナ言一光トキ、知ル也源ノコレヘヲ出ト云也オサナキ人ハ一

【五四オ】

少ナ言返答ニ紫ハマダネテヲ出ト也ナドカドウシタ事デドコゾへ源ノヲ出テ忍アルキノヲ婦ガケト思也紫ツレニトハ知ヌ也物ノ一忍ビアルキノモドリト思也宮一ソウ云ウチニ光ト少ナ言トモノ云中ニヲ出也父宮へ引トルト聞故ニソレヨリサキニ一言紫へ云ヲク事アル少ナ言一ナニヲ被仰ヤライカニ一イカニハナニトシテシツカリトシタ返事エ云マイ也君一ソレカラ源ハ紫ノネマヘツ、ト入ル也少ナ言初メメノトトモ云也イト一キノドク也ウチトケテ一皆打トケテネテアル也ハバドモソバニネテアル也聞エサスハヤハリ聞ユ也詞ノベテ云也源ノ被仰ハマダヲドロキ也イデハドレ也カ、ルーカウシタ朝霧ニハネル者デハナヒガト児(コ)ドモ故云也夜ブカナレドモ朝霧ニ取ナシテ被仰也付々ノ人也ソコヘハヲ出ナサルナトエ云ヌ也源ノダキヲコスニ肝(キモ)ツブシヲクル父宮ノヲ迎ニヲ出ト思也源ノカミカキナデ父宮ノヲ使デ私クルト

【五四ウ】

云アラ一初ニ宮ノ御迎ニヲハシマスト思ガ宮デハナヒト思也クラガリ故源トシラズ宮デモナヒ故源ナレバソレ程ニナヒタベモトマル故ワレモ父同前ノ人ト云也ヒンダカへ出也大夫一トモニ紫ノ召遣ノ者也兩人也ハドウナサル、

ト云也コ、ニハ一コ、ヘハ節(セツ)々モエコヌ也心易キテ前ノ二条院ヘトカネノ云也ソレヲ心ウク父宮ノ方ヘワタルト聞クマシテ一マシテヤコレヘサヘモナルニ。マシテ父ノ方ナレバ通口スベカラザル也テ前ヘツレカヘル程ニトノコス也人一ドレナリトモヲトモニコイ也少ナ言心サハギ肝ツブレル也今日ハ父宮ヨリヲ迎ニクル故タヨリアシカラ宮ヲ出ノ時ニ云様ナヒ也イカ様ニ云ハント也自(ヲ)一シゼン二月日ヘテモ然ルベイ御(ゴ)縁アラバトウナリトモ思召通ニナラン末ヲモイヤリモナヒ程ノ幼少ナレバサフラフ一私ヲ初メ外ノツキノ遣モ心苦カラン也ヨシ一ヨシヤヲツテナクトモヲトモノ人々ハコン也車ヨセヨト云也ソレ故少ナ言キノドク也ドウナサル、事ト思也

【五五オ】

若君モ一紫モ車ニノセントスル故合点ユカヌ也少一ユウベ父宮へ行トテ縫タギヨ衣引サゲハ衣桁ニカケタナド引サゲテヲ車ニノル也二一源ノゴテンハ近故マダ一二条院ヘヲハシテ西ノ臺ハ人ノスマヌ処也東ノ臺ニ源ヲ出ナサレ西ニハヲラヌ也少ナ言云ハコ、先ヘマイレドモユメノ様ニ思也イカニ一エ車ヨリヲリヌ也ソハ一ソレハ其方ガ心マカセニセヨ也御一紫ヲ此方ヘ渡ハ其方ハイナントアラバワレナリトモタレナリトモヲクリヤラント也ワリナク一セン方ナシニ車カラヲリタ也

《四十七ウ 五月朔旦會》

△ニハカニアサマシウ一少ナ言セン方ナク車ニハノツテクレドモ前後弁ズ忘却シテトヲ尋申上ニカヘリナント一ソノ方尤也紫ヲテマヘ、ウケ取ハ其方婦バ人デモヤラン我デモユカント被仰故(ユヘ)セン方ナク小ナ言モ車ヨリヲリタ也ニハカニ一少ナ言ガ思ヒ入レニハ急ナ事也前後弁ヘン心故胸モダクノスルナゼナレバ宮一父兵部卿ノ宮明日ハ迎ニクルトアル故也玉(ノ)ハム

コトト

【五五ウ】

句ヲ切也。是カ一ツキノ毒ト云心也。我ハ紫ニ付テアル故。アトカマハネドモ宮ノヲ心キノドク也。イカニソレハサテヲキ紫必竟ユクエハドウゾ也。源ノヲ志ドウ末サカヘユカンカシレズコレニツ也。トテモカウシタ宮ノヲ心モキノドク又紫ノヲ行末ノ幸不幸ノアレバイシレヌト。スルモカクスルモ紫ノ母君祖母君死シテナヒ故カウシタアトサキスマヌ事出来ト少ナ言アブナフ思也。ヨギナヒ事也。泪ト思故少ナ言心悲也。紫ハ養君也。又ハキミノ事モ思ヒ出ナク也。サスカニハコンバン紫ヨメ入デハナケレドモ立身ノ事ハジメト思也。ソレ程カナシケレドモ立反テユ、シイハイマノシイ也。コヨヒソフ思ベキニ非ト思也。ネンジハ伊勢ニアルエネンジエズシテト家出(イエデ)ノ女ノ処ニアル也。コレ初也。コラヘラル也。コナタハ西ノ臺也。源平生ハ東ノ臺ニスム。西ノ臺ハアケ置珍客ヤナド請ズル処ニアケアル也。ソレヘ今晚透ト引也。女杯コヌ処故。几帳ナドナヒ也。惟光御出頭ノ惟光召シテ御帳アタリノハソコニアルベイ処ニ置也。

(○私考曰御帳コ、ニイヘルハ爰ノ御帳ニテスマシナルヘシ)

【五六オ】

アタリハ當ノ字ノキミ也。相キ當ノ心也。此ハ几帳デナケレバナラヌ屏風デナケレバナラヌト云也。シタテノシハ助字也。シ立トシノ字活字ニミテハムサイ也。御木丁ノナンボ人ノスマヌ処デモ源ノスム東キ(三)住西ノ臺故キ帳ナンドモアル也。几帳ノ柱(ハシラ)ハアル也。柱ハ衣桁ノ様ニ黒ヌリニシタ者也。カクタビラハマクノ様ニシタ者也。ソレハナケレドモ柱ハアル也。ソレニキヌカケサ

ス也。オマシエンザシク也。ケツコウナゴテンナレバ也。エンザモシトネモ元ヨリアル也。アレヲ敷バスム也。下地ケツコウナト云ハン為也。東ノ臺ニ平生ノ源ノゴザル御テンコチラハ客殿也。ヲヌシ(主)ノヲ居間ヘ御トノキハ服見也。トノキハトノコキルノ心也。コレモキン中ノ宿イ直衣ヨリ出公卿テン上人キン中ヘ出トノキノ為ニ召ヨスル服見ノ心デトノキ者ト云也。平生トノキセヌ人デモソレウツリヨルノ者◇(ノコト)ヲ御トノキ者ト云也。紫ヲ紫ノ里ヘツレニ行ハ夜フカウ行也。今デ云バ七時分ニ行先ノネゴミヘユク也。夜フカイ故又ギョシンナツタ也。

【五六ウ】

若君ハ紫ハヲソロシイ也。是ハケシカラヌ事ト思也。ドウナル事ゾト振也。サスカニト云テモモフ十歳ナレバ大ナ声立テ、ナカレモセヌ也。コゼウネアル故也。少納言ニネルナラバ少ナ言ガモトニネント源ヘ願也。十歳ソコラ故イト若シ也。今ハ源ノ我方ヘクレバ其様ニ乳母(メノト)ノソバニネル者ニ非ト小トモノコト故云也。イトツライ事ト思ツ、ナクノネル也。メノトドウナルコトゾ也。物モ前後弁ヌ也。明行ノ夜フカウ七時分ニ行故其夜ハ明ルカアケヌカ也。明行マ、ニ庭ノサマ少ナ言ミ渡ス也。ヲトハ御殿ノ事也。関白デモヲトノト云トノ様ト云ト同事也。ソンケウシテハ殿様(トノサマ)ト云我自分ノ主モトノト云ヲトバハゴテンノ事也。ソレ故関白以下皆トノト云也。御殿ノ作ザマ飾又内ノコシラヘ様ドウモ詞ニ述ラレヌ也。庭ノスナゴ迄金銀ヲク様ニ思ハル思ヒナシ也。カ、ヤクハマバユイ様ニ思也。ハシタナクフソウ応ニ思也。我今迄ヲル処ハムサイニコ、ニ居ルハフソウ応ナ様也。コナタニハ元ヨリスムハ西ノ臺ハサシキノ様ニシテ

【五七〇】

ヲク故女杯コヌ也女ハ女恥シイ也同輩恥シイニ女ナドモサフラハザリケリ故クツログ也ウト／＼シイ客人ヲアイシラウ処也ヲトコトモゾー男子バカリゴハン人御家ライ杯ヲル也トハ外(ソト)也徘徊シテ見エル也カクー男ノバン人御家来ヤ杯ヲ出ハ婦人ソウ也ドウシタ人ゾゴレキ／＼ナランヲボロケナルマイ大概ノ人デアアルマイ也今ハ葵上ト云御本妻アレドモコノ様ニシテゴザルハ先カラモナントモ思ズコチニモナントモ思ヌ也古ハソウアツタ也御手水ー夜アケル故テウツ持クル也御粥ー古ハレキ／＼ハ夜アケントカユ也早朝ハカユデサテヨイ時節(ジセツ)ニ今日ノ飯(メシ)上ル也各自ハコハイト云也今日ノメシノ事也コナタハ紫ノゴザル西ノ臺也マイルト云ハコナタへ持テ来テ進上致ヲマイル／＼ト歎書ニハアル人ニ物進セル事ヲマイルトアル也日ー日高フ上ル故四ニモナツテ也ハ源也人ー無人デサビシイ也アシーハアシクアルメル(ヲ)アシカンメルトツバメル也クハカニ反(カヘル)也ントハネルハ字ツバメル故ハネテヨム習也ドコデモ也サビシイ程ニ来テ可然人ナレバ晩景ニ及ヒヨビニヤリ

〈○四十九ヲボロケ如何日ワルイ事也ハツキリトセヌ也ヲボロカ也イハヨフナヒコト也処ニヨリヨイ処ニ書ナシテモアル也〉

〈○同サ、メク如何日サ、ヤク事也ウツ／＼内セウデ云事也サ、メゴトトモ云也サ、メコトト違ヤ日同コト也サ、トヨムハアシ・サ、也サ、メコトハネ物語ナレドモソレモサ、ヤク事也サ、ハ少(チヒ)ソウ云事也〉

〈○同ユウツケテハ云付テト見ルハ非ナルヤ付ハスミテヨムヤ日付ハタベヘツイテ也夕ヘカ、ルキミ也付()ハ夕ヘツク也トチヘヨムモ同コト也バンガケテノ事也〉

【五七〇】

爰ニ置(ヲケ)ト云也是源ノ心ニテ少ナ言ニ被仰付詞也タイニーヲノシノゴサル東ノ臺也随分ヨツテ少(チイサイ)ヲヲコセ也紫ノトモダチニスル也是モ隔句也チヒサキカギリコトサラニマイルトハ聞エン故コトサラニ小サキ限リエランデマイルレト云心也打カヘシテミル也御意故面白風流ニシタラ源ノ御処カラコメロ四人クル也君ー紫ハキヌニ包マレナン前ヨリギヨシナリアル也君ハ紫也セメテー源ノムリニ夜明ル程ニト引ヲコス也カウーソウ人イヤガル様ニスナ也スバロニ心ナラン人ガ我ガ様ニスル者カト紫へ源ノ云テ聞ス也アリナンヤカウハナヒハヅト也コノヤハヤハト云ヤト同事也女ハーソフタイ男子ハツヨキヲ以テ貴トシ女ハヨハキヲ以ヒトスト後漢書ノ詞也御ー源ノツク／＼ト紫ミルニ形ハ遠ガケテミルヨリヨイ也形ヨイ故ナツカシウーハカハイラシイキミ也ナジミ出来故源へモ物語スへ様ニナル也ヲカシキエー源ノヲヌシノ御殿へ面白遊ー小兒ノキニ入ル様ナ者也コレハアル事也御心ー紫ノキニ入ル様ナ事シテ源ノキゲントル也ヤウ／＼

〈○四十九丁ヲノ玉テ臺ニトアレバ此人ハ東ノ臺ト見ユ然ニ抄ニ古里人ヲ召トアリ如何下ノ五十二丁ヲニヤウ／＼人參リアツマリヌトアリ如何日此間ハ隔句也五十二丁ノハ来アツマレリトアル故コノ四人ノ上ヘキ来也ナカノハノ玉フ事書也コレナンボモアル事也兼道按四十九丁ヲサルヘキ人々トハ紫ノ古里ヘモ人云テヤレト被仰其人ノ五十二丁ニヤウ／＼人參リアツマリヌト云也人々ノ人ハ東ノ臺ノ人ニ非也臺ニワラハベメシニツカハスハ人少故ニ被仰遣也此説ノヤウニ見ユレトモサニ非ス古里人ノ説非ナリ〉

【五八〇】

二説也紫ノヤウ／＼オキテエヲミル也ニビ色ノー紫ノエ杯ミルソノセウ東云

時ニニビ色ト云ハ服()ノアル人ノキルセウ束也スミト青花()ト入
レソメル時スミニ青色セル今ノミナトネズミノ様也是ハ祖母君ノ服デキル也
ヤウ／＼オキテエヲミルニ其セウゾクニビ色ハ服浅ケレバ浅ヲ著服近ケレバ
コヒヲキル故紫ハコヒニビ色ヲキルカ也ソレハナシコマヤカトハモノホメル
詞也露コマヤカ也ト詩ニモ遣也ウツクシイト云テモスム也打ナヘドモハキ
又モソレ上(ウヘ)ニキル者モ皆ニビ色故也ナニ心ナシノ色メク処モナヒ
故打笑遊◇(モノ)杯ミル也源モ独エミシテウレシイ也又一説ハヤウ／＼オ
キキテミ玉フニ。火色ノコマヤカナルガ也火色ト云ニ説アル也火色ハ今無者也
本コウバイ色ハモミノコイノガ本ユルシノ色トテコキ色也火色トハソノウス
イ也本コキクレナヒハ法度(ハツト)デナラヌ也桃(モ)色ハ下ゾメナヒ
者也下地梶子(クチナシ)ニシテアリモ、ノ様ニスレバ丁ドヨイ程ニナルチ
ヤクロノ

(○私考曰ニビ色ハ鈍色也ウス墨ニ青花ナトヲマシヘテ染ルト説々多シ葵ノ
卷ニクハシ是服者ノキル色ナリコマヤカナルトハ濃(コキ)ナリ)

【五八ウ】

様ニナル也モヘル火ノ様ナ色ユヘ火色ト云不首尾ナドニハキヌ者ナレドモコ
ヨヒ源ヘ初テクル故ニキルカト云事也サレドモアチニハ知ヌ也無理ニツレク
ル也ソレニモ入刻アルバ父ゴノアス迎ト云親ゴノ処ヘゴザレドモ祝義故火色
拵ヘルカト云コト也サレドモ是ハ作物語也父ゴヘゴザレトモ祖母ゴノ服衣キ
ル也二説アレドモヤハリ是服衣也各別ニ拵ハセヌ也前ニ父ゴノ方ヘ行トテ衣
又ウテアル又少ナ言衣拵ニアルヲ引サゲクルト云ドモソレキカヘルマナヒ也
ヤハリニビ色也東ノ臺ニ源ノヲノシノ御処ヘ帰ル間也立出テギヨシナル
処ヲキ出ル也立出ハ必庭ヘ出ニ非ズ自身ニ庭ヘゴザルニ非ズゾキ玉フハミ

スゴシニミル也霜ニカレルヲニハノ植ゴミ面白也ミモシラヌ源ノ太政
大臣ノ御威光故四位五位ガコキマゼルハ御殿ニ見渡バコキマゼルニアル也
コキマゼルハカキマゼル也カトコト五音通ス手ヲ以テ◇(ム)セウニカイテ
マゼル也俗語ヲ以テ出テ◇(抄引)ミ渡セバ

(○私考曰四位ハ深緋(フカアケ)五位ハ浅緋ノ袍(ウヘノキヌ)ナリ其
染或延喜縫殿寮ノ式ニ見エタリコキマセハ搔交(カキマセ)テナリ)

【五九オ】

ニシキ也ケルト云様ニ柳桜トカキマセラレネドモソウヨムガ哥ノ風流也元ハ
手デカキマゼルヨリ出ル訓也ソコイツモノ客間故ニソコヨリ出入シテ源ノ方
ヘ行也平生ノ客間故ニナニ心ナク出入スル也面白人々出入スト紫ノ思也ソコ
ラニアル屏風ノエヲミツ、ヲサナヒ故也マダハカナヒ者ジヤ色ケナヒ故也君
ハ源ハ二三日参内モセズ紫ナツケル様ニシテソコニゴザル也ヤガテヤガ
テハスグニソノマ、手本ニモト思召カ手習ハ手ヲ書テ見セ繪ヲ書テミセナ
サル、也紫ニケイ古サス也源ハ能書能畫故也奉リ給ト句ヲ切也イミジウ源
ヲ書ナサレ面白ケニ段々書アツメヤル也ムサシ野源ガ紫ノウスヤウニ武サ
シ野トイヘバカコタレヌト書也コレハ古イ哥ニ◇(抄引)知ネドモ是ハ古
今ニ紫ノ一本故ニ武サシ野ノ草ハミナガラアハレトゾミル紫ト云花面白ヨイ
花ユヘソレ咲ト思バ野中ガアイセラル也草ハミナガラハミナガラ也ナツ
略スル也アハレ

【五九ウ】

ト愛シテ思ハル、ト是古今ノ本哥也紫ノ色コキトキハメモハルニ野ナルク
サキモワカレサリケリト伊物ニアル紫ノ色コク咲時ハ目モハルカナ野中ノ草

木モ別レズ一エンニアイセラルトヨムソレ本ニシテヨム也ムサシ野ニハ何ガ
 咲カシラネドモムサシノト云バカコタル、也紫アル故ニムサシ野ノト云バカ
 コタル、ト其詞取テムサシ野トト云テ書テ紫上へ進ゼラルアルアチニハ知又事
 也紫ノ上ノヲバ藤壺也是源一生ノ執著也メイゴ故ニ召ツレラル是ヲバヨリ引
 ツバキカノユカリ也紫ノ一モト故ニ紫故ニカコツケニナリ恋シイ也カコツハ
 カコツケル也コノ又ハ畢(ヲハン)又也スミツキハスミ次(ツ)ギ也紫ノ心
 ニウツクシイヨク書ト思テ取テミル源ノ物語故手ハ義之(ギシ)子昂(スゴ
 ウ)ノ様ノ能書也日本デ云バ先イ(サリ)コウゼイノ様也エハ古法眼ノ様也
 美男ハセヱ(カ)イ国土ノ美男子也スコシ一見テアルフミノナカニ少シチイ
 ソウ書テアル也

【六〇オ】

○「ネハミネト」紫上トツイニネタ事ハナヒ也紫ハ其草ノ寝デソメル者故根
 也根デソメルヲコメルウラワカミネヨゲニミユルモネタラバヨカラント云カ
 ラネルニ根ヲ持(モタ)シテヨム根ニネルヨム例也伊勢ニアル也アハレト
 愛シテ大切ニ思也ムサシノ、ハ藤壺ヘヲ目ニカ、リタク露ワケワブレドモ
 逢◇(レ)又也ソノユカリデメイゴノ紫上ヲ哀ニ思ハマダネテハミネドモ藤
 壺ノワカレ故ニ哀レト思也イデハ源ノドレ也コナタモ書テミ玉ヘ也マダ一紫
 ノ返答ニマダハルイ也何心一無心ニシテ色ドルデモトラレデモナヒ也打一源
 ノ独エミ也ナル程ヨフハナリ悪フテモ也ムゲハ一向也人次第二ナリ書テヨイ
 也悪(ワル)クバ教テヤラン程ニ先カケ也打一ハスヂカイニムク也マ正面ニ
 向(ムカハ)又也テツキ一ハ筆トル書ザマ也カハイラシウ也ノ、ミノ字*眼也
 ナニスルモ紫ハ筆トルモヨク啼(ナク)モヨイ也是宿縁故ニ也心一源ノ心ナ
 ガラモ是ハフシギ

【六〇ウ】

ナコトジヤト思也是宿縁也書一紫得ト哥ノ返哥書テ置テ書ソコナフト云テカ
 クス也ムリニ取テミルニ哥アル也

○「カコツベキ」初ニムサシ野ト云ハカコタレヌトアル也カコタレル事ハ私
 ノ身ニハナヒ也竟東ナヒ也ドウシテ草ノユカリヤラ知又也ヲサナイ也哥ノテ
 イ若(ワカ)ノ、シイ也オイサキ一哥ノヨミ様ヨリ必竟能書ニモ哥ヨミニモ
 ナラン小児故ブツノト大筆(オ、フデ)ニ書也祖母君ニ似古風ニ似テ風流
 ニナヒ也當世ノ風流ナル手本ミセバナル程手ヲヨク書出(カキデ)ントミ玉
 フ也ヒキナ一ワザト源ノ拵サシタ也ヤハヒキナノ家也ノシモ小ドモノ様ニナ
 リアル也コヨナキ一コレヨリ上ノナヒヨイ物思ノマギラハシハナヒ藤壺ノ物
 思ノマギラハシニヨイ也カノ一是ヨリ紫ノ里ノコト也少ナ言コソ来(クレ)
 アトハ残リアル也宮一ヨク日宮迎ニコザル也ドウモ云様ナヒ故キノドクガリ
 アル也シバシ一源ノ事前被仰シ

【六一オ】

バシ人ニシラセトムナヒ人ニ云ナ也君ハ源也少ナ言モソノ通思アル也セチハ
 キビシウニ也源ノ御殿カラ紫ノコ処ヘ云ヤル也ヤリツ、デアチヘ云テヤル也
 タバ一一向ニ少ナ言盗(ヌスミ)テニゲタニスル也イテハツレテ行也少ナ言
 ツレテイנדタバカリシテヤク也宮モカヒナヒ也折角ツレニクルニ也初ハ兵
 部卿後ハ式部卿也古尼君モ一カシコハノシノ妻ノ方也ケイ母ニカケルコトモ
 ノシハキノ毒ナイヤナコトト思也メノト一コレ兵部卿被仰也本ヨリ紫上ハ兵
 部卿ノ女ナレドモ本妻ノ子ハ皆内ニアル紫ハ尼ゴノ女先ヘ死スルマ、コ故尼
 君モヤリトムナク思也メノト一ソレ故乳母ノ少ナ言杯イキスギタ利口立也意
 (コ、ロバ)セハ紫ヘノ心バセ紫ヲ大切ニ思フ心バセ也意ハ少ナ言ガ心紫上
 ヘカ、ル意(コ、ロバセ)也コレデ句切也ヲイラカニ一ニツトリト和ニ一ト

ハ云ズ也ヲマヘハヤルハマ、母ゴニヤルハ如何トソウハ云モセデ也心ニト
ハ云（イハ）デ少ナ言ガ心ニ

【六一ウ】

任テキテ引（ヒキイ）ツレテ也放ハユクエナクワケモナヒ楳（モノ）ニス
ル也「身ハステツ心ヲダニモハフヲサシツキニハイカ、ナルトシルベクト古
今俳諧ノ部ニアル身ヲ放埒（ハウラツ）ニモツト同事也セン方ナク父ゴハイ
ヌル也若アリカ知レバ我方ヘ云テコイ也僧都ソレユヘ父ゴカ僧都ハ尼ノア
ニクラ馬ニ居ルソレヘモ尋ニヤレドモアチニモ知ヌ也アタラシカリシーヲシ
キコトト思也北ノ方ハ兵フ卿ノオク様也紫ノマ、母也ハ、君ハ紫ノ本ノ母
也嫉妬ノ方デ悪也心モウセテハ相手死ル故女メ取テソ立ント思也此奥様ハ悪
イ也兵フ卿モ女ボニマカレル様ナ人也コノ奥後迄悪、口スル事アルヨウナヒ
人也タガヒ我思フニ違也ヤウ、是ヨリハ紫ノ上ノ方角ノ事也人ハ源ノ
召ス人ガクル也御源ノヨツテ少（チイサイ）ノヲコセト云者也イト源ノ
西ノ臺紫上ノヨウス杯風流ナ故キモツブス也ワレラモ面白ガリ紫ニ友立テ遊
也君ハ源ノドコゾヘゴザル参内ヤ

（〇五十一丁ウ煩ラハシクト止ハ云ノコスヤ曰思也コレラハ思フト云ネドモ
シレテアルコト也）

（〇五十二テヤウ、ヒト参リコレハ今源ノ召ス人ニテ紫ノ古郷ノ人歟曰
東ノ臺ノ人也古郷ノ人ハ子ヤラ知ヌ也抄ノ説古郷人ヲヨフトハ非ナリ元ヨリ
招ク心デナヒナリ）

【六二オ】

杯ニハサビシク思也サウ、ハサビシイ也ソノ時ニコソ尼君ノコトヲコヒル

也父ゴノコトハソレ程ニ思ヌ也平生ナレヌ故也元ヨリ近フ見習事ナヒ也紫幼
少デ母ゴシソレカラ尼君ヘアツケテアチヨリモアマレシタシウナヒ也今ハ
親ゴハナシババゴハ死シ父ゴハウトクコノ後ノオヤハ源ノ事也イミジウニ
ムツマシウソバヘヨリマツハシイ也物源ノドコカラデモヲ帰ナサル時ハサ
ツソク紫ノ出迎（ムカヘ）テカハイラシク物語スル也御女メノ様ニスル也
少シモ小ドモノコト故男ジヤノハタカラミルノト云様ニナヒ也思ヒ思ヒテ
アラズ也サル方ニハ色ケハナシヨイナグサミ也サカシラ心元ヨリ色アツ
テカシコ立シテリンキシツトシテサマ、アチニ知恵出来テアレバ我ハ男
ノ心（心チ）ニモ也アチノ心違カト心ヲカレル也人アチカラハ又カレコ
レト恨ガチ也平生夫婦ノナカデ悪（ニクイ）ノ離別センノト思フ心出来也イ
トコレハト入レミル也是ハクレキニアハントモ思ズヨイナグサミ也ムスメ
ナド是カラヒツクルメ作者ノ評バン也我ムスメナレバハタハ助字也十歳此
ニナレバモハヤ心ヤスウニ父モトジヤトテソバヘヨリ

（〇五十二丁ヲ本ヨリミナラヒ聞エ玉ハデ迄ハ上ヲ承父ノコトヲ云ナラヒ玉
ヘレバハ下ヘツ、ゲ源ノコト云ヤ曰ナヲヒ玉ヘレバモ皆上ヘツク也ナラヒハ
ナラハセ也ミズキカヌガナラハシジヤト云コト也ゼウジウガソレジヤト云コ
ト也）

【六二ウ】

フトコロヘハ入テ隔ナクネル様ニハナヒ也是程ノ年バヘニナレバソフナラヌ
也フトコロニエネコヌ也是ハ夫婦ナレドモノノ交ナシ又本娘メデモナク是ハ
ヨウスノカハル夫婦ト云ハ夫婦娘デモナクサマカハルイツキカシヅクテイノ
者也ト思召ト也イツキトバカリモ云ヌ伊勢ニタバカシヅク娘トモアリ又源氏
ニモイツキ女メトモアルイツキカシヅクデカハイガル也イツクシミト云ハカ

ハイカルアイスルコト也カシヅクモ主人ニ奉公スル事云也又カシコマルキミ
ソソケウノ事云也伊勢ニアルカシヅクハ人ノ女メノソソケウスル故奉公スル
者ソソケウスル也大事ニシテケ来トモ◇(ニ)馳走サシテカハイガル也
若紫巻畢

〔一〕再問條々

○朝參諸大夫ト云コトアリト如何曰朝參大夫ト云コトアリ是五位ノカラナ也
諸大夫即五位也從五位ト朝參大夫也江戸多ハ從五位下也

○イタウヤツレ抄ニ二説アリ如何曰供ノスクナヒガヨイ也瘦ヲ云供マワリ多
ハ源ト知レル也病氣ノ方ヘ取テ云モ苦ナヒ也ヤツス事ヲヤツレト多アル也夕

〔○オボヒタトハ思召シタト云ギ歟曰同コト也メクハ如何曰タリ也メリハ心
ナヒ也〕

【六三才】

顔ノ卷ニモアル也

○七丁ウ抄素寂如何曰シラズ

○十丁ヲスミロ抄ノ説如何曰催サルモ心ナラヌ心アリナゲクマイト思テナゲ
ク也

○十一丁ウ抄ノ哥ソノカミノ―イモキハ物忌ノコト也

○同ヤウヤウ―ヤウヤウハヤリ様也ウハ付字歟曰ヤウシタト云ト同コト也

○サカシラ心ハ賢ノ字ノ心カ曰然リカシコダテスルコト也五十二丁ウニモ此
詞アリ

○十四丁ウ思フ心アリテト句切ト如何曰ヨシ所存アル故先ヘユカント也

○廿五丁ウ抄ノ艶書ノ懸引ハ封自也今菓子包様ニスル状トミセン為也堀川ノ
エン書合ハ哥バカリ返哥モ入ニ卷アル也今エン書ヤル意ニシテ男ヨミカケ即

女返カスル者也百人一首ニモ女ノ一首入アル也

○二十八ヲ抄引哥 コヨヒダニ―ヌハ畢(ヲハン) 又也晧シラヌ様ナ夢サメ
テクレヨ也クラフノ山ナレバ暗キ故ナリ

○卅一ヲ頭書ニ出テイナバ―哥伊物ニ出

○忘レナン―隔句也今ハワスレナント思時ニ也先方ニ今ハ忘レナント思時ニ
コソ也

